文本

第27114号

官報　第二七一四號　昭和十一年一月二十二日　水曜日

官報

昭和十一年一月二十二日
第二千七百十四號　水曜日

詔書

朕帝國憲法第四十五條及衆議院議員選擧法第十八條ニ依リ昭和十一年二月二十日ヲ以テ衆議院議員ノ總選擧ヲ行フコトヲ命ス

御名御璽

昭和十一年一月二十一日

内閣總理大臣　岡田　啓介
大藏大臣　高橋　是清
内務大臣　後藤　文夫
海軍大臣　男爵　大角　岑生
外務大臣　廣田　弘毅
司法大臣　小原　直
商工大臣　町田　忠治
農林大臣　山崎達之輔
文部大臣　松田　源治
鐵道大臣　内田　信也
拓務大臣　伯爵　兒玉　秀雄
陸軍大臣　川島　義之
遞信大臣　望月　圭介

訓令

◎文部省訓令第一號

昭和十年文部省訓令第一號地方學校營繕職員制ニ依ル職員ノ定員中左ノ通改正ス

昭和十一年一月二十二日

文部大臣　松田　源治

奈良縣ノ項ノ次ニ和歌山縣　一　二ヲ加フ

告示

◎内務省告示第八號

道路法第二十條第二項ノ規定ニ依リ本大臣ニ於テ新設又ハ改築ヲ爲シタル國道ニシテ工事ノ終了シタルモノ左ノ如シ

昭和十一年一月二十二日

内務大臣　後藤　文夫

路線名	區間	工事終了ノ期日
一號	自神奈川縣高座郡藤澤町大字藤澤 至同縣同郡同町大字大庭	昭和十年十一月三十日
一號	神奈川縣高座郡茅ヶ崎町大字茅ヶ崎地内（但府縣道寒川茅ヶ崎停車場線分岐點以東ヲ除ク）	同
四號	自宮城縣志田郡三本木町大字善無 至同縣同郡同町大字三本木（但三本木橋南詰ヨリ南六百二十五米ノ區間ヲ除ク）	同
十六號	自大阪府泉北郡大津町大字下條 至同府同郡同町大字宇多	同
三號	自福岡縣築上郡八屋町大字八屋 至同縣同郡角田村大字松江	同
三十三號	自長崎縣佐世保市下京町 至同縣同市本島町	昭和十年十一月三十一日
十號	自新潟縣中蒲原郡石山村大字鵜又 至同縣同郡大形村大字海老ヶ瀬	同
一號	自神奈川縣足柄下郡前羽村大字前川字中宿四百三十番地ノ一 至同縣同郡國府津町	昭和十年十月三十一日
二十五號	自佐賀縣佐賀市水ヶ江町 至同縣同市赤松町字元城内三十二番地ノ四	昭和十年四月十五日

◎大藏省告示第二十四號

川崎市扇町四十六ノ一番地所在合資會社野村事務所私設保税倉庫ハ昭和十年十二月十三日限リ廢業ニ因リ特許消滅セリ

昭和十一年一月二十二日

大藏大臣　高橋　是清

◎大藏省告示第二十五號

名古屋市南區潮見町十番地所在三井物産株式會社私設保税倉庫ハ昭和十年十二月十七日限リ廢業ニ因リ特許消滅セリ

昭和十一年一月二十二日

大藏大臣　高橋　是清

◎大藏省告示第二十六號

大阪市此花區川岸町一丁目四十九番地所在スタンダード・ヴアキユーム・オイル・カムパニー横濱支店私設保税倉庫ハ昭和十年十二月十九日限リ廢業ニ因リ特許消滅セリ

昭和十一年一月二十二日

大藏大臣　高橋　是清

◎大藏省告示第二十七號

大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地所在三菱商事株式會社私設保税倉庫ハ昭和十年十二月二十日限リ廢業ニ因リ特許消滅セリ

昭和十一年一月二十二日

大藏大臣　高橋　是清

◎大藏省告示第二十八號

和歌山縣海草郡濱中村大字下津字白濱三千六十九番地所在土井石油株式會社私設保税倉庫ハ昭和十年十二月二十五日限リ廢業ニ因リ特許消滅セリ

昭和十一年一月二十二日

大藏大臣　高橋　是清

◎大藏省告示第二十九號

岩手縣氣仙郡大鉄渡町字上平百一番地所在日本石油株式會社私設保税倉庫ハ昭和十年

目次抄錄

◎詔書　期日　衆議院議員總選擧　四七七
◎訓令　地方學校營繕職員制ニ依ル職員ノ定員中改正　四七七
◎告示　新設又ハ改築ノ國道工事終了　四七七
私設保税倉庫時效期間延長　四七七
他　市川實業學校名稱變更　四七九
標準下体生命保險會ノ發賣許可　四七九
郵便局電話交換開始其他　四七九
◎叙任及辭令　定期檢査其他　四八〇
◎官報　十年十二月中ノ外國郵送價表　四八〇
◎官外公館報告　上海經濟情況　四八〇
◎官報　一九三五年英國綿布輸出額　四八〇
◎官外　昨二十一日發行官報三部郵便物認可
内務省告示（英國島帝陛下崩御ニ付宮中喪仰出其他）一頁
◎官報（衆議院解散）二頁

十二月三十一日限リ廢業ニ因リ特許消滅セリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清

◎大蔵省告示第三十號
岩手縣上閉伊郡釜石町大字釜石第四地割八十一番地所在三井物産株式會社私設保税倉庫ハ昭和十年十二月三十一日限リ廢業ニ因リ特許消滅セリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清

◎大蔵省告示第三十一號
函館市海岸町六十九番地所在三菱商事株式會社私設保税倉庫ハ昭和十年十二月三十一日限リ廢業ニ因リ特許消滅セリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清

◎大蔵省告示第三十二號
秋田縣南秋田郡土崎港町相染新田字濱ナシ山所在日本石油株式會社私設保税倉庫ハ昭和十年十二月三十一日限リ廢業ニ因リ特許消滅セリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清

◎大蔵省告示第三十三號
青森縣東津軽郡野内村大字野内字浦島所在ライジングサン石油株式會社私設保税倉庫ハ昭和十年十二月三十一日限リ廢業ニ因リ特許消滅セリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清

◎大蔵省告示第三十四號
長崎市木鉢町四番地所在スタンダード・ヴアキユーム・オイル・カムパニー私設保税倉庫ハ昭和十年十二月二十七日限リ廢業ニ因リ特許消滅セリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清

◎大蔵省告示第三十五號
私設保税倉庫ニ於ケル蔵置貨物ノ種類追加ノ件左ノ通許可アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、保税倉庫ノ位置及名稱及許可年月日　横浜市神奈川區子若町二丁目一番地　澁澤倉庫株式會社　昭和十年十二月十一日
一、追加スヘキ貨物ノ種類　外國貨物タル「カーボンブラック」

◎大蔵省告示第三十六號
福岡市千代町一丁目二十九番地及同眞砂町三番地ノ一外二筆所在博多製飴株式會社私設保税工場特許期限ヲ昭和十三年十二月三十日迄延長ノ件昭和十年十二月二十一日許可アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清

◎大蔵省告示第三十七號
山口縣萩市大字東田町六十八番地所在合資會社鳳月堂私設保税工場特許期限ヲ昭和十三年十二月三十日迄延長ノ件昭和十年十二月二十一日許可アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清

◎大蔵省告示第三十八號
大阪市東淀川區長柄濱通一丁目五番地所在日本橋梁株式會社私設保税工場特許期限ヲ昭和十一年三月三十一日迄延長ノ件昭和十年十二月三十日許可アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清

◎大蔵省告示第三十九號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月十八日
一、經營者　東京市日本橋區室町二丁目一番地一日本石油株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　名古屋市南區潮見町十番地　二百四十三坪六勺二
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　二基　二百四十三坪六勺一
一、作業ノ種類　鑛油ノ混合
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　鑛油
(ロ)內國貨物　鑛油

一、特許期限　昭和十五年十二月十七日

◎大蔵省告示第四十號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第四十一號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十八日
一、經營者　東京市日本橋區室町二丁目一番地一三井物産株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目一番地　千百四坪七合
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　六基　千百四坪七合
一、作業ニ種類　鑛油ノ混合及「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　鑛油
(ロ)內國貨物　鑛油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十六年十二月二十七日

◎大蔵省告示第四十二號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十八日
一、經營者　横濱市中區山下町八番地　スタンダード・ヴアキユーム・オイル・カムパニー
一、保税工場ノ位置及面積　長崎市木鉢町四番地及五十三番地　六百六十八坪九合九勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　六百六十八坪九合九勺
一、作業ノ種類　鑛油ノ混合
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類　外國貨物タル鑛油
一、特許期限　昭和二十年十二月二十七日

◎大蔵省告示第四十三號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　名古屋市南區大江町十番地　七十九坪四合五勺七
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　一基　七十九坪四合五勺七
一、作業ノ種類　鑛油ノ混合
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　鑛油
(ロ)內國貨物　鑛油

一、特許期限　昭和十五年十二月二十九日

◎大蔵省告示第四十四號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十八日
一、經營者　東京市日本橋區室町二丁目一番地一日本石油株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　岩手縣釜石郡大船渡町字上平百一番地　二百二十一坪五合四勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　一基　二百

一、作業ノ種類　鑛油ノ混合
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類　外國貨物タル鑛油

一、特許期限　昭和二十年十一月三十日

◎大蔵省告示第四十五號
保税工場私設ノ件左ノ通許可アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、保税倉庫ノ位置及名稱及許可年月日　三菱倉庫株式會社　昭和十年十二月十一日
一、追加スヘキ貨物ノ種類　外國貨物タル「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十三年十一月三十日

◎大蔵省告示第四十六號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十一年一月一日
一、經營者　東京市日本橋區室町二丁目一番地一三井物産株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　秋田縣南秋田郡土崎港町相染新田字濱ナシ山　四百七十二坪五合二勺九
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　三基　四百七十二坪五合二勺九
一、作業ノ種類　鑛油ノ混合
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類　外國貨物タル鑛油

一、特許期限　昭和十三年十一月三十日

◎大蔵省告示第四十七號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十一年一月一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內三丁目四番地日本石油株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　秋田縣南秋田郡土崎港町相染新田字濱ナシ山　四百七十二坪五合二勺九
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　三基　四百七十二坪五合二勺九
一、作業ノ種類　鑛油ノ混合
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類　外國貨物タル鑛油

一、特許期限　昭和十三年十一月三十日

◎文部省告示第八號
千葉縣市川市大字市川ニ設置セル市川實業學校ノ名稱ヲ昭和十一年一月二十日ヨリ市川商業學校ニ變更ノ件昭和十一年一月二十日認可セリ
昭和十一年一月二十二日
文部大臣　松田　源治

◎商工省告示第一號
東京市麴町區丸ノ內貳丁目六番地協榮生命再保險株式會社ニ對シ標準下体生命保險及其再保險事業ヲ營ムノ件昭和十一年一月二十日免許シタリ
昭和十一年一月二十二日
商工大臣　町田　忠治

◎遞信省告示第百十八號
昭和十一年一月二十六日ヨリ左記郵便局ニ電話交換業務ヲ開始ス
昭和十一年一月二十二日
遞信大臣　望月　圭介

名稱	位置
胡麻郷郵便局	京都府船井郡胡麻郷村

◎遞信省告示第百十九號
昭和八年四月遞信省告示第七百六十五號米澤高等工業學校長施設官廳用無線電話ノ第二裝置トシテ左ノ通增設ヲ承認セリ
昭和十一年一月二十二日
遞信大臣　望月　圭介

一、作業ノ種類　鑛油ノ混合
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類　外國貨物タル鑛油

一、特許期限　昭和二十年十一月三十日

◎大蔵省告示第四十八號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第四十九號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第五十號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第五十一號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第五十二號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第五十三號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第五十四號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第五十五號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第五十六號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第五十七號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第五十八號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第五十九號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第六十號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第六十一號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第六十二號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第六十三號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第六十四號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第六十五號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第六十六號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第六十七號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第六十八號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第六十九號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第七十號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第七十一號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第七十二號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第七十三號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第七十四號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第七十五號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第七十六號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第七十七號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第七十八號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第七十九號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第八十號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第八十一號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重油及原油
(ロ)內國貨物　重油、原油及「ドラム」罐

一、特許期限　昭和十五年十二月二十日

◎大蔵省告示第八十二號
保税工場私設ノ件左ノ通特許アリタリ
昭和十一年一月二十二日
大蔵大臣　高橋　是清
一、特許年月日　昭和十年十二月二十一日
一、經營者　東京市麴町區丸ノ內二丁目四番地三菱商事株式會社
一、保税工場ノ位置及面積　大阪市大正區鶴町一丁目三十二番地　四百七十二坪六合二勺
一、建設物ノ種數及坪數　油タンク　四基　四百五十七坪六合二勺
一、作業ノ種類　重油又ハ原油ノ混合並ニ「ドラム」罐詰
一、作業ニ使用スヘキ貨物ノ種類
(イ)外國貨物　重

(ロ)同 上 三二六度 二〇六〇米
(ハ)同 上 三三〇度 一九三〇米
(ニ)同 上 三三五之度 二一三〇米
(ホ)同 上 一〇度 二四二〇米
(ヘ)同 上 三五九之度 二八六〇米

(乙)區域

左記(ト)、(チ)、(リ)及(ヌ)ノ各點ヲ順次連結シタル海面

(ト)梅町棧橋南西方測量原點(北緯三四度三九分 東經一三五度二五分)ヨリ 三三五度 二〇四〇米
(チ)同 上 二七八之度 一四一〇米
(リ)同 上 二七八之度 二一一〇米
(ヌ)同 上 三二九之度 一九一〇米

(丙)區域

左記(ル)、(ヲ)、(ワ)及(カ)ノ各點ヲ順次連結シタル海面

(ル)梅町棧橋南西方測量原點(北緯三四度三九分 東經一三五度二五分)ヨリ 二七六之度 一五二〇米
(ヲ)同 上 二四七度 一五四〇米
(ワ)同 上 二四七度 一三三〇米
(カ)同 上 二七六度 一三一〇米

(丁)區域

左記(ヨ)、(タ)、(レ)、(ソ)及(ツ)ノ各點ヲ順次連結シタル海面

(ヨ)梅町棧橋南西方測量原點(北緯三四度三九分 東經一三五度二五分)ヨリ 一二之度 二一一五米
(タ)同 上 一〇之度 二一二〇米
(レ)同 上 三四九度 一八八〇米
(ソ)同 上 三三三度 一一〇〇米
(ツ)同 上 一六度 一三一〇米

◎**遞信省告示第百二十五號**

昭和十年十二月二十六日ヨリ左記鑛業特設電話所ヲ改稱ス

昭和十一年一月二十二日

遞信大臣 望月 圭介

現名稱	改稱
大谷炭礦鑛業特設電話所	北海道石狩國空知郡芦別村字大谷澤

◎**遞信省告示第百二十六號**

本日限リ大正十四年九遞信省告示第十三百五十號無線局及託送發受所名等中固定局ノ部「宮田」ノ項ヲ削除ス

昭和十一年一月二十一日

遞信大臣 望月 圭介

◎**遞信省告示第百二十七號**

昭和十一年一月二十三日ヨリ大正十四年九月遞信省告示第千三百五十號無線局及託送發受所名等中固定局ノ部「五島椛島」ノ項ノ次ニ左ノ通追加ス

昭和十一年一月二十一日

遞信大臣 望月 圭介

局名	本	渡	呼出符號	JQI

正誤

一昨二十日遞信省令第四號中四一四頁下段終ヨリ二行「第三十條、第三十五條及第八十一條中」ハ「第三十條及第三十五條中」四一五頁上段第三十一條ノ二中「書留料ノ部通常郵便物ノ下「其ノ他外國宛」ハ「其ノ他ノ外國宛同告示第百號中四二一頁上段二一遞送狀況ノ部初行「航空日數」ハ「航空同數」ノ誤モ誤

遞信書記官

敍任及辭令

◎昭和十一年一月十五日

從六位勳六等 吉永 虎馬
從六位勳六等 嶺瀧千安喜
從六位 富久田又三郎

(各通)

同 常吉 剛太
同 延藤 武男
從六位勳五等 西春 英夫
從六位勳六等 中川 慶寶
從六位 河東田辰雄
同 丹治 經治
從六位勳六等 月藤 義一
從六位 鈴木 茂
同 矢崎 賢文
從六位勳六等 蛇口 哲三
從六位 藤崎 參造
從六位勳五等 飯島 忠
從六位 知度
同 太田 元雄
從六位 樋口 熊次
從六位勳五等 三澤 熊次
同 槇野佐太郎
同 鈴木 俊吉
從六位勳六等 吉田 豊治
從六位 福島 堯經
同 淺水成吉郎
同 馬場馬之助
同 吉岡健太郎
同 高梨 秀善
同 河合 祥吾
同 玉木 政治
同 勝田雄次郎
同 仁藤 武雄
同 瀧本權兵衛
同 仁尾 正義
從六位勳六等 高木 賴三
從六位 寺本 直喜
同 瀧川 茂
從六位勳五等 宇井田二郎
從六位 宇川 春景
同 國府 種文
同 山際 正道
同 森河 敏夫
同 細田 孟
同 伊崎貞之進

敍正六位

從六位勳六等 丸岩 關彌
從六位 市原 通敏
同 小牧 實繁
同 松川 達夫
同 松野 義三
同 白井 新
同 松田 定信
同 松本 薫
正七位勳六等 三戸左馬助
同 岡本 太郎
同 小川 鈞
正七位 土橋 武男
正七位勳五等 吉田 瑄三
同 稲島貴三郎
正七位勳六等 稲山鉄太郎
正七位勳五等 三木 晴一
同 船崎 逸次
同 牛尾 岡成
正七位勳六等 田中 正司
正七位勳五等 增田 信雄
正七位勳六等 丸內 忠八
正七位勳五等 並松 裡一
同 服部 一
正七位勳六等 東 高安
同 宮川 鶴松
同 松田謹之助
同 野田 憲一
正七位勳五等 柳岡 武
同 高橋 榮吉
正七位 伊須田子成
同 石西 節夫
正七位勳五等 近藤 常秀
正七位勳六等 石丸 貴
同 高山 省三
正七位 吉村與三郎
正七位勳六等 島田 靜雄
正七位勳五等 寺道 留一
同 中家 眞秀

正七位勳四等 岡崎 豊
正七位勳六等 原田千代三
正七位勳五等 亘 廣海
正七位勳六等 吉川常右ヱ門
正七位勳五等 山崎 義勇
同 高須 三郎
同 大河內俊助
同 宇根本四六
同 櫻田 末吉
正七位勳六等 小谷 清
正七位勳五等 稲森 義邦
正七位勳六等 竹井 卓二
正七位勳五等 中間 俊雄
正七位勳六等 澁谷 德一
正七位勳五等 岩倉虎次郎
正七位勳六等 楠 美一郎
正七位勳四等 小澤 信夫
正七位勳五等 木村 重郎
正七位勳六等 神 猪一郎
正七位勳五等 內匠 豊
同 前野 重弘
正七位勳六等 渡邊 誠夫
正七位勳五等 杉原 清吉
正七位勳五等功五級 古市 嘉秀
正七位勳五等 村上 毅
同 諸角 善一
正七位勳六等 時任 哲夫
正七位勳五等 獅々堀數三
同 釘宮 眞石
正七位勳六等 明田 房雄
正七位勳五等 山內 清之
同 齋藤元之助
同 伊藤末之丞
正七位 川原 八郎
正七位勳六等 田中 之男
同 岡村 高政
同 宮本 四郎
正七位勳五等 田邊 政二
正七位勳六等 加藤芳次郎
同 尾高 三郎
正七位勳五等 篠浦 信一
正七位勳六等 中島 武夫
正七位 佐藤 秀雄
正七位勳六等 西岡 豊二
同 坂根 勝男
正七位勳五等 田中 常吉
同 二宮 茂
正七位 花谷 浩
正七位勳六等 上條彌三郎
正七位勳五等 對馬源八郎
同 仲田 博
正七位 大晉 洪
正七位勳五等 野村 登
正七位勳六等 田中 喜三
正七位勳五等 福永 憲
正七位勳六等 黑田 和一
正七位勳五等 西永 彰治
同 松尾 茂男
正七位勳六等 岩本 只芳
同 横山 武重
正七位勳五等 吉田 太郎
同 黑田良之助
正七位 関谷 正
正七位勳六等 山田 重成
正七位勳五等功五級 深谷 正
正七位 大嶋 修理
同 加藤 質
正七位勳五等 堀場 一雄
正七位勳六等 鶴見 簞馬
正七位勳五等 池內 綾男
正七位勳六等 成田 貢
同 森永 澄雄
正七位勳五等 福井 金藏
正七位勳六等 柿花 彦輔
正七位 山本 新
同 佐藤 吉直
正七位勳六等 宮崎 三郎
小林修治郎
同 栗本 藤持
正七位 佐藤 秀三
正七位勳五等 武川庚子郎
正七位勳五等功五級 西山敬九郎
正七位勳六等 井戸川 秀
同 船曳 義男
正七位勳五等 關 寒吾
同 神谷 文雄
同 白川 壽視
正七位勳六等 今村 秀雄
正七位勳五等功五級 榊 利德
正七位勳五等 北川 秀明
正七位勳六等 奥田 甚一
同 武田 英之
正七位 中澤 政次
正七位勳六等 氏家 武則
正七位勳五等 柳本 榮喜
正七位勳六等 山口 正
正七位勳五等 清家 武夫
正七位 岩元 議秀
正七位勳五等 山口 貞男
正七位勳六等 堀田 吉明
正七位勳五等 坂井 敏
同 齋藤 襲治
正七位勳六等 赤松 貞雄
正七位勳五等 成川 一郎
正七位勳六等 川島 武正
正七位勳四等 岡部 猶介
正七位勳五等 大藪直市郎
正七位勳六等 杉山 清
同 吉松 秀孝
松井麻之助
同 美濃 壽孝
同 木村 竹治
正七位勳五等 若松 七郎
正七位勳六等 塗師 徹治
正七位勳四等 矢口 健藏
正七位勳五等 湯川 浩
正七位勳六等 迫田 穫
同 加藤 國治
正七位勳五等 坂部 正忠
同 長命 稔
正七位勳六等 中山 光忠
正七位勳五等 松本 節
正七位勳六等 齋藤 信保
同 筑土 邦壽
同 島 重道
同 宮內 五朗
同 永井 利貞
正七位勳五等 矢野 國武
正七位 高橋 忠三
正七位勳五等 田中 誠
正七位勳五等功五級 千葉 一良
正七位 武居 勝次
正七位勳六等 佐藤 武志
正七位 八代 重矩
正七位勳六等 森川 信夫
正七位勳五等 中村 昌三
同 鈴木 卓爾
正七位勳六等 井上 光喜
正七位勳五等 畑尾 正央
正七位勳六等 六角 尙文
同 上田 續治
同 山下 敏三
正七位勳五等 深井 英一
正七位勳六等 加瀨谷陸男
同 山下 光熊
正七位勳五等 有田 寶
正七位勳六等 佐藤富太郎
正七位勳五等功五級 後藤 之敏
正七位勳五等 永島 貞正
正七位勳六等 滝山 三男
正七位勳四等 飯原 幸藏
正七位 小林 公雄
正七位勳五等 二神 力
正七位勳六等 町田 賢助
正七位勳五等 山本 邦齊

第2714号

正七位勳六等 小森田親玄
同 吉川 勝正
同 石井 豊記
正七位勳五等 河村 辨治
正七位勳六等 藤本 治毅
正七位勳六等 白根 大郎
正七位 木谷 美雄
正七位勳五等 富嶋 襄
正七位 片島 一彦
正七位勳五等 花本 盛彦
正七位勳六等 宮坂 眞三
同 石井 秋穂
正七位勳五等 福澤 丈夫
正七位勳六等 鹿瀬 誠治
同 青山 良武
同 小松 周策
正七位勳五等 三吉 悌一
正七位勳五等功五級 村澤 一雄
正七位勳五等 黒川 朝幸
正七位 高柳淺四郎
同 安東 恒雄
正七位勳七等 藤田 千也
同 土田 穣
同 前田 二雄
同 梅川 應助
正七位勳五等 大澤 進一
正七位勳六等 高橋 政一
正七位勳五等功五級 池田 末男
正七位勳五等 大井 英夫
正七位勳五等 中島 正清
正七位勳五等 中村 元晴
正七位勳六等 平田信太郎
正七位 横山 明
正七位勳六等 大井 確一
正七位 友森 清晴
正七位勳五等 平尾 長久
正七位勳六等 中村 忠雄
正七位勳五等 安東 英夫
同 安藤 尚志
同 佐澤 聖
同 中尾 秀治
同 服部卓四郎
同 馬渕 良逸
同 中村 文雄
同 岡島 元次
正七位 齋藤 二郎
敍從六位
◎昭和十一年一月二十日
小園 恭一
敍從七位
◎昭和十一年一月二十一日
拓務事務官正七位 青木 熊夫
兼任資源局事務官
敍高等官六等
鐵道局書記從七位勳七等 柏山規短太郎
任鐵道局副參事
敍高等官六等
南洋廳郵便局通信書記勳七等 水野 喜朔
兼任南洋廳事務官
敍高等官七等
南洋廳技手 清水嘉太郎
任南洋廳技師
敍高等官七等
島取縣警部 岩垣新一郎
任地方警視
敍高等官八等
齋藤 昂一
土木主事ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
弓削 經一
公立大學助教授ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
茨城縣女子師範學校教諭兼茨城縣立水戸第二高等女學校教諭
沼尻 茂雄
茨城縣女子師範學校教諭兼
武藤幾滿太
師範學校教諭ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル

〈各通〉

師範學校教諭 武藤幾滿太
師範學校教諭ニ兼任ス
公立高等女學校教諭從六位 黒崎 壽
公立中學校教諭ニ任ス
高等官五等ヲ以テ待遇セラル
茨城縣立下妻中學校教諭 常井 省
公立中學校教諭ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
見澤彌一郎
同
公立中學校教諭ニ任ス
高等官八等ヲ以テ待遇セラル
公立中學校教諭 黒崎 壽
公立中學校舍監ニ兼任ス
廣島縣公立小學校訓導兼廣島縣公立青年學校長廣島縣公立小學校長廣島縣公立青年學校助教諭廣島縣公立青年學校長從七位勳八等
佐々木亀次郎
公立高等女學校長ニ兼任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
廣島縣公立小學校訓導兼廣島縣公立小學校長廣島縣公立青年學校助教諭廣島縣公立青年學校長御訓育都向島西
伊場 英三
公立高等女學校長ニ兼任ス
高等官八等ヲ以テ待遇セラル
京都市立商業實修學校教諭 矢田部四郎
公立實業學校教諭ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル
靜岡縣農林技手 森岡金三郎
青森縣農林技手 相内 亮助
〈各通〉
軍歩兵少尉正八位
地方農林技師ニ任ス
高等官七等ヲ以テ待遇セラル

三等郵便局長

高等官七等ヲ以テ待遇セラル（十二月内閣）
安宅 彌吉
商工省貿易局顧問被仰付
拓務事務官兼資源局事務官 川本 邦雄
免兼官
資源局事務官 青木 熊夫
法制局參事官 入江 俊郎
同 大場 茂行
同 佐藤 達夫
同 樺島 千春
樞密院書記官 堀江 季雄
同 武藤 盛雄
外務省條約局長 栗山 茂
外務書記官 塩崎 觀三
同 守島 伍郎
同 加藤 三郎
同 松嶋 鹿夫
同 山形 清
同 柳井 恒夫
同 松本 俊一
外務事務官 神田襄太郎
同 安東 義良
同 太田 一郎
外務省翻譯官 高柳錠太郎
大使館一等書記官 宮川 松夫
同 須賀喜三郎
同 泉二 新熊
同 菰淵 清雄
同 清水 孝藏
同 三橋 久美
同 神谷 健夫
同 宇野要三郎
同 遠藤 誠
同 中島 弘道
同 森田豊次郎
同 檢事 平井彦三郎
同 樫田 忠美
同 松阪 廣政
國民精神文化研究所員 紀平 正美
東京帝國大學教授 野村 淳治
同 牧野 英一
同 三潴 信三
同 宇野 哲人
東京帝國大學教授男爵 穂積 重遠
東京帝國大學教授 藤村 作
同 森 莊三郎
同 本位田祥男
同 河合榮治郎
同 神川 彦松
同 土方 成美
同 田中耕太郎
同 戸田 貞三
同 那須 皓
同 蠟山 政道
同 和辻 哲郎
同 中西 寅雄
同 田邊 忠男
同 菊井 維大
同 杉村章三郎
東京帝國大學助教授 江川 英文
同 岡 義武
京都帝國大學教授 神戸 正雄
同 鳥賀陽然良
同 山田 正三
同 野上 俊夫
同 高田 保馬
同 宮本 英脩
同 本庄榮治郎
同 作田 莊一
同 西田直二郎
同 石田文次郎
同 渡邊宗太郎
同 黒田 覺
東北帝國大學教授 佐藤丑次郎
同 小町谷操三
東京商科大學教授 上田貞次郎
行政裁判所評定官 遠藤 源六
正三位勳一等 立 作太郎
同 兼木 嚴翼
正三位勳二等 島田 鐵吉
同 河津 遐
同 吉田 靜致
同 加藤 正治
同 中村 進午
正四位勳三等 河田 嗣郎
從三位勳二等 松本亦太郎
正四位勳二等 岡田朝太郎
從四位勳四等 松原 一雄
氣賀 勘重
遊佐 慶夫
正三位勳二等 筧 克彦
從四位勳三等 山田準次郎
從三位勳二等 山本美越乃
正三位勳二等 末廣 重雄
同 中島 玉吉
同 黒板 勝美
外務省囑託 岩村 成允
同 山口爲太郎
高等試驗臨時委員被免
法制局長官 大橋 八郎
宗教制度調査會委員被仰付
鐵道局技師 本間 源三
依願免本官

〈各通〉

法制局長官 大橋 八郎
文官高等懲戒委員被仰付
大藏次官 津島 壽一
文官高等懲戒委員被仰付
鐵道次官 喜安健次郎
文官高等懲戒豫備委員被仰付
大藏次官 津島 壽一
文官高等懲戒豫備委員被免
南洋廳產業試驗場技師 和田 常記
陞敍高等官五等
地方警視 脇坂 貞幹
依願免本官
衛生技師 門田 正德
願ニ依リ本職ヲ免ス（以上十二月同）
地方事務官 池田欽三郎
補大阪府調停官
地方警視 伊田 孝昌
補鳥取縣鳥取警察署長
九級俸下賜
補鳥取縣米子警察署長 岩垣新一郎
同 脇坂 貞幹
八級俸下賜
土木主事 齋藤 昂一
北海道廳土木主事ニ補ス
衛生技師 松井 蔚
福岡縣衛生技師ニ補ス
陸軍歩兵大佐 高木 義人
都市計畫青森地方委員會委員ヲ命ス
高場 損藏
都市計畫青森地方委員會委員ヲ免ス
福岡縣會議員 大神熊次郎
同 山田 一
同 山本 東樹
同 龍頭 進
都市計畫福岡地方委員會委員ヲ命ス
福岡市會議員 前田幸三郎
願ニ依リ都市計畫福岡地方委員會委員ヲ免ス

〈各通〉

地方事務官 加藤 精三
懲戒審査會員ヲ命ス
町村制第百五十條第二項ニ依リ石川縣町村吏員懲戒審査會員ヲ命ス
同 岡本 正一
石川縣市吏員懲戒審査會員ヲ免ス
石川縣町村吏員懲戒審査會員ヲ免ス
星野 覺平
健康保險法施行令第百六條第一項第三號ニ依リ栃木第一次健康保險審査會委員ヲ命ス
松阪 德重
願ニ依リ靜岡第一次健康保險審査會委員ヲ免ス（以上十二月內務省）
海軍機關少佐 杉山 諒
休職被仰付 但與ニ滯（十二月海軍省）
在ス（シ十二月海軍省）
補豐岡區裁判所檢事兼神戸地方裁判所豐岡支部檢事 檢事 岡 琢郎
五級俸下賜（十二月司法省）
熊本藥學專門學校教授 小園 恭一
十級俸下賜
公立實業學校教諭 勝田 覺一
公立學校職員分限令第八條第一項第五號ニ依リ休職ヲ命ス（以上十二月文部省）
公立大學助教授 弓削 經一
京都府立醫科大學助教授ニ補ス
師範學校教諭 沼尻 茂雄
茨城縣女子師範學校教諭ニ補ス
師範學校教諭兼師範學校舍監 武藤幾滿太
茨城縣女子師範學校教諭兼茨城縣女子師範學校舍監ニ補ス
公立中學校教諭兼公立中學校舍監 黒崎 壽
北海道廳立余市中學校教諭兼北海道廳立余市中學校舍監ニ補ス
公立中學校教諭 常井 省

〈各通〉

同 見澤彌一郎
茨城縣立下妻中學校教諭ニ補ス
公立高等女學校長 佐々木亀次郎
廣島縣三原實科高等女學校長ニ補ス
同 伊場 英三
向島實科高等女學校長ニ補ス
公立實業學校教諭 矢田部四郎
京都市立商業實修學校教諭ニ補ス（以上十二月同）
地方農林技師 森岡金三郎
靜岡縣農林技師ニ補ス
同 相内 亮助
岩手縣農林技師ニ補ス（以上十二月農林省）
遞信書記官 飯野 毅夫
經理局主計課長ヲ命ス（十二月遞信省）
鐵道局技師 本間 源三
十級俸下賜
仙臺鐵道局勤務ヲ命ス（十二月鐵道省）

南洋廳産業試驗場技師 和田 常記
七級俸下賜 南洋廳技師 清水嘉太郎
九級俸下賜(以上十二月二十日拓務省)
學校衛生技師 松井 誠一
七級俸下賜(二月十日北海道廳)
公立中學校教諭 田嶋 廣次
七級俸當分千五百圓下賜(二月十日)同
十一級俸下賜(二月十日)地方商工主事 西野 久
八級俸下賜(二月十日)大阪府學校營繕技師 楠瀬 凞
九級俸下賜(二月十日)土木技師兼道路技師 前田 玄二
同 同 源川豐一郎
十級俸下賜(二月十日)地方農林技師 瀧口 義資
十級俸下賜(二月十日)公立中學校教諭 岡田 芳松
年功加俸年額金百九拾貳圓下賜(二月十日)長崎縣

宮廷錄事

◎安閑天皇千四百年式年祭 本月二十七日安閑天皇千四百年式年祭ノ儀ヲ行ハセラル
一親王親王妃王妃王族公族
右午前九時五十分賢所參集所ニ參集
一宮內大臣宮內次官ノ內一人宮內勅任官同奏
任官總代各一人
右午前九時四十分賢所參集所ニ參集
服裝男子ハ大禮服正裝女子ハ通常服又ハ袿袴服

◎孝明天皇例祭 本月三十日孝明天皇例祭ノ儀ヲ行ハセラル
一親王親王妃王妃王族公族
右午前九時五十分賢所參集所ニ參集
一宮內大臣宮內次官ノ內一人宮內勅任官同奏
任官總代各一人
右午前九時四十分賢所參集所ニ參集
服裝男子ハ大禮服正裝女子ハ通常服又ハ袿袴服

◎御見舞電報 英國皇帝陛下御不例ニ付一昨二十日天皇陛下ヨリ同國皇后陛下ヘ御見舞電報ヲ御發送アラセラレタリ

◎御答電 本月十九日天皇陛下ヨリ英國皇帝陛下ヘ御發送ノ御見舞電報ニ對シ一昨二十日同皇帝皇后兩陛下ヨリ御答電アリタリ

◎御弔電 一昨二十日英國皇帝ヂョーヂ第五世陛下崩御ニ付昨二十一日天皇陛下ヨリ同國皇帝陛下ヘ天皇皇后兩陛下ヨリ同國皇太后陛下ヘ夫々御弔電ヲ御發送アラセラレタリ

彙報

○官廳事項

◎昇級 熊澤盛北州公立公學校長(奏任待遇)久保田金藏、同三木茂、同盛南州公立公學校長(同)本田四郎、同中井悟、同石川止戈、同金子一二、八三級俸ニ同盛中州公立小學校長(同)立石虎雄、同盛中州公立公學校長(同)宮坂千代鼓、同盛南州公立公學校長(同)一ノ瀨涉ハ四級俸ニ孰モ昨十年十二月二十六日附昇級セリ

◎兼務 朝鮮黃海道公立普通學校長(奏任待遇)朝鮮公立普通學校訓導中込欣一郎ハ昨十年十二月二十七日湖東公立普通學校兼務湖東公立普通學校長兼務ヲ命セラレタリ

◎退職 大阪市立西天滿商工專修學校大阪市立船場商業實務學校大阪市立難波實務學校ハ昨十年九月三十日限廢校ニ付大阪府公立小學校訓導兼大阪府公立小學校長公立青年學校長掠本辰治郎、同田淵利一郎ノ兼職タル公立青年學校長ノ身分並ニ公立青年學校長兼公立青年學校教諭板垣繁樹ノ本職並ニ兼職ノ身分ハ同日限孰モ自然退職ト爲リ愛媛縣公立小學校長村上辭次、沖繩縣公立小學校長兼島信悠ハ同十二月二十六日孰モ願ニ依リ退職ヲ命セラレタリ

◎官吏卒去及死去 地方技師地方農林技師正五位勳五等武富憲時ハ本月六日卒去シ朝鮮道立醫院非務官從六位大沼勘造ハ同八日、鐵道局副參事從七位杉山成三郎ハ同十六日孰モ死去セリ

○警察

◎錄約出版履行 昭和八年七月二十六日小川菊松ヨリ警視廳ヘ屆出テタル「明解圍式圍碁大辭典」ノ豫約出版ハ之ヲ履行シタル旨屆出テタリ(警視廳)

○陸海軍

◎日本赤十字社錄事 日本赤十字社ハ左記二百五十二名ノ社員特別社員推薦ノ篤志又ハ社業上ノ功勞ニ對シ特別社員ニ推薦セリ(陸軍省、海軍省)

朝鮮
高崎 和佐 山口 行敏 田內 鶴男
金 碩 熙 福岡忠太郎 加々美愛民
梅根 菊平 小野 英勇 市原 雄吉
岩崎 政介 青島 鋪作 豊田 準一
崔 炳 熙 錢 翊 親藤本福右ヱ門
黑川 國治 中川 半造 大場 金藏
堀越友二郎 芹澤 愨七 田畑 平吉
柴田 左光 永田 孝直 權 泰鎬
五十嵐市十郎 藤本 卯一 信原 烽次
朴 錦孝 朴 正得 康 興錫
金 共珍 李 元求 柳 昌錫
近藤善太郎 佐藤 芳吉 羅 錫天
尹 成執 權 日用 曺 秉學
趙 夏榮 金 鍾悅 鄭 賢謨
十車 仁作 河波 政七 福岡榮太郎
枡 富太郎 橋本 巽 姜 東曦
金 石鉉 趙 在敦 金 昌煥
尹 大五 尹 佐衡 權 泰星
瀧川 一江 瀧川 鹿男 吉本 茂郷
丸山 正茂 佐々木茂男 橋本 猛
吉野 道也 山田 幸重 篠原武一郎
秋本 平太 山本 新作 平野 達也
石原 博太 吉浦 英信 崔 楓
崔 應 柱 韓 相 億 利市 麟
加來 次夫 横田 孝次 代田 繁治
李 發林 孫 景三 孫 志軒
王 少楠 郭 占榮 楊 翼之
史 祝三 張 信卿 張 晋三
張 殷三 沙 敬毓 金 東和
李 培鉉 井上 殿二 中野 勇吉
森 清吉 李 相琦 孫 大日
本多 勇盛 朴 成鎬
閔 泳冑 堀田富三郎 澤田宗三郎
池田 蓁吉 今田 嘉吉
李 善郁 韓 晃 賓 三宅近治郎
米原福三郎 安田 鉄治 堀田富三郎
平澤 喜介 松田 靜夫 山中宇三郎
李 昌夏 李 台淳 金 世俊
太田 房藏 川南 秀造 朴南極
黃 倫根 江島 金人 鄭 雲翰
河村 保一 井上 吾一 上野咲治郎
前井大次郎 香川武右衛門 朴 性淳
長谷川威亮 山村 辰次 金 容直
津留甚太郎 外城 市郎 遠矢袈沙市
金 達之 金 鐵洙 寺田初三郎
義村 作藏 稲葉善之助 印 大煥
韋 利億 尹 致鎬 尹 永善
白南 薰 原田 貞輔 原田 金助
朴來榮 富田 精一 富田 晋二
劉 泰豹 李 用錫 橋都 芳樹
及川 邦治 大村 勇藏 岡元 濟二
大浦 秋吉 韓 昌瓘 吉村 源治
吉田英三郎 横田 肇之助 横山 才次
竹中佐治郎 高木 信吉 瀧本 理
武內 靖 孫 昌潤 塚野 季三
中村 仁 松井民治郎 古下 藤一
高應 參 奥 錫瀧 江藤 克己
鄭 養吉 赤岩 紋平 崔 洛善
金 陵鍵 貢 藤 金健 永
金 炳八 金 基 島 金鎭泓
金 炳吉 金 鶴瑞 徐 利根
車 昌鎬 柴田次郎平 柴田 鈴二
森田奈良治 李 圭昇 柳 鎬琨
河 瓘斌 金 容琦 黃 圭煥
宮地 太吉 伊賀 倭治 宮本弥三郎
高橋式三郎 武藤幸太郎 梶原 菊造
松永 茂 大田亥十二 安田道太郎
堀本德次郎 松本 信夫 任 昌淳
金 駿鉉 李 鐘珍 金 愚鉉
金 晟煥 井澤 宇一 西山 信
方 鎬翊 朴 永熙 朴 冨成
戶嶋 貞藏 長曾我部鼎
十時賀太郎 張 世喆 李 枝盛
李 景敏

奏請
李 丙吉 大竹住右衛門 奥野 明
太田馬九郎 大久保りん 大和田留雄
大石 又吉 河原 壽夫 韓 重熙
横瀨 守雄 吉岡喜太郎 谷野 滿藏
高居 武雄 辻本 嘉一 中井久左右
內田鯉五郎 野田 博 窪田 廉
八坂卯三郎 玄 容健 藤繩 遠郎
藤澤 英雄 洪 正求 金 寶
金 福童 木村 七郎 北島 耕造
金 福賢 金 弘琯 金 龍洲
徐 商德 閔 潤植 閔 光植

○學事

◎學位授與 京城帝國大學ニ於テ本月十五日附忠清南道金晟鎭ニ醫學博士ノ學位ヲ授與セリ(朝鮮總督府)

◎卒業證書授與 神戶高等商船學校ニ於テ本月十五日卒業證書ヲ授與セル者左ノ如シ(氏名五十音順)(文部省)

航海科
安部浩太郎 菊地 武 澤出 久水
高尾鶴三郎 渡邊 茂義
機關科
久保木三良

◎帝國圖書館月報 帝國圖書館ニ於ケル昭和十年十二月中ノ情況左ノ如シ(文部省)
開館日數二十六日間ノ圖書閱覽人員普通二萬九千五百三十五人、特別一萬千四百五十七人、館外帶出者百十一人、合計四萬千百三八、一日平均千五百八十人强ナリ又其貸付セシ圖書ノ種類及員數等左ノ如シ(同)

和漢書	館內	一、五三〇	五、〇一二	一三	一、〇一	二、一
第一門 神書宗教	館外	〇	〇	〇	〇	〇
第二門 哲學、教育	館內	一四、六七六	二四	九五	五、一三一	六、七
第三門 文學、語學	館外	八、九七六	八二	一、九六七	一六、七二七	二二、〇
第四門 歷史、傳記、地誌、紀行	館內	一〇、一〇〇	一四	三三	一四	一〇、一九三
第五門 國家、法律、社會、經濟、統計	館外	一〇、七七八	一三	一五八	一〇	一一、二五
第六門 數學、理學、醫學	館內	一三、五一〇	八九	四一三	一	一一、一〇六
第七門 工學、兵事、農術、產業	館外	七、六九五	一四	三七三	一	一四、〇四一
第八門 類書、叢書、隨筆、雜書	館內	三四九	三、六〇七	六	〇	八、〇八二
合計	館外	七二、二七七	一三一	一三八、七	〇、二	七六、二三九
一日平均	館內	二、七七九、四	一四	一	一	二、九三二、二
前年同月比較增減	館外	△三、三五六	△一〇六	△二三二	△一八	△二、七二一
	計	一、九二八	一〇、〇四〇	七、〇二二	一、一六八	一六、四七三

○財政

◎外國貿易概表 大藏省ノ調査ニ依ル昭和十年十二月中ノ外國貿易概表左ノ如シ(大藏省)

十二月分

輸出	本年前年	千圓	千圓	全年	本年前年	千圓	千圓	增減
食料品								
甲 粗生品								
米及粟		二三六	二一三	五、二三六		八、四二〇		△三、一九四
豆類		七七〇	一、一六八	六、七二三		九、〇五一		△二、三二九
水產物		二、〇四〇	二、〇七五	一〇、七三五		一六、四七三		△六、二六二
其他		二、〇三三	二、二八〇	一四、三三〇		一九、一一八		△四、七八八
計		四、九六七	五、七〇一	三、九五一		三、九九三		△一、九四
乙 製造品								
小麥粉		七二六	九四〇	八〇七		一、一一一		△一、一〇四
糖		一、七〇九	二四四	一、七〇九		二四四		九二
麥酒		一一五	一一一	四、〇六〇		三、四八一		△一、五七七
寒天		一、八〇一	一、〇〇七	四、〇六〇		三、四八一		△一、五七七
罐詰食料品		一、〇〇七	一、〇〇二	一、六〇四四		一、六七二一		△一四、三〇九
其他		一四、三〇九	一四五、三〇九	一、六七二一		一、九七、一一〇		△一四、三〇九
計		一、〇〇二	一、〇〇二	一、六〇四四		一、六七二一		△一四、三〇九
類計		一、〇三八八	一、〇三八八	一、六七二一		一、九七、一一〇		△一四、三〇九
原料用製品								
植物性脂肪油		五一三	五八〇	五八〇		六、四〇〇		△六、四〇〇
澁荷油		二八一	一三四	二、五六九		二、五六九		△二、五六九
魚油及鯨油		一、一〇六	七四一	九、七二一		九、七二一		△九、七二一
樟腦		一、七八六	二、〇八二	二三、一八二		二三、一八二		△二三、一八二
澁荷腦		六、七〇二	五、七三八	六八、五九一		六八、五九一		△六八、五九一
其他		一〇、三八八	九、二七五	一〇、四六三		一〇、四六三		△一〇、四六三
類計		四、八三一	一、四四三	二、七〇五二		一、一二、二九一		△一、一二、二九一
石鹼		二八八	二二〇	一、八三八		一、八三八		△一、八三八
燐寸		一、二二七	四八九	六、八九二		六、八九二		△六、八九二
絹織物		三六〇	三八一	三、五〇三		三、五〇三		△三、五〇三
人絹織物		五七一	三三八	五、四〇一		五、四〇一		△五、四〇一
絹織物		四二、九五三	一二、五八六	三九七、〇三二		二八六、九五七		△三九七、〇三二
毛織物		二、九四九	二、三八九	三五、八七九		二、三八九		△三五、八七九
生絲		三、一六八	一、四四三	二二、八五三		二二、八五三		△二二、八五三
綿織絲		七〇一六	四二二一	六五、八三六		六五、八三六		△六五、八三六
人造絹絲		九七六	八二四	一一、二五八		一一、二五八		△一一、二五八
鐵		七七四	九七四	八、五〇三		八、五〇三		△八、五〇三
銅		七五二	九三二	四、六一五		四、六一五		△四、六一五
眞鍮		七、三〇五	六、三八三	八二、七七七		六一、八七七		△二〇、九〇〇
製帽用眞田		七三、一六〇	四五、八七三	四九八、二一三		四九八、五二九		△一七三、八八四
其他		二九六	二九〇	三、八八一		三、五四一		△四四〇
類計		二七九	二七九	三、二〇九		二、九二九		△二八〇
全製品		五、六五一	七、二七〇	七七、四四四		七七、四八八		△四四
石鹼		一〇、九二一	一二、三六二	一一三、四八四		一一三、七七六		△一四、七七六
燐寸		四七、〇二八	四七、一四六	四九六、〇九七		四九六、三五一		△三、七四六
絹織物		二、二四〇	二、九五七	三、二四〇		二、八八九		△五、五二
人絹織物		四七二	四七二	七、四四二		五、三八〇		△二、〇七二
綿織物		二二一	三七二	四、二六二		四、三〇八		△三五五
手織物								
綿ブランケット								
絹手巾								

第2714号

綿タオル	四四二	六六四	六四七	七一一六	△ 七四六
綿ハンカチ製品	四三一一	四八四四	五〇一六六	四七六一八	二四八
鉛筆類	一八六〇	一八七七	一六一六六	一七八六〇	△ 一四七六
鉛筆芯	一〇六五	一〇〇一	一〇一四二	九六六六	四六四四
身繕裝飾用品	一〇四五	一一四六	一一六一四	一〇一〇六六	一四二八
紙類	一八六六	一一〇六四	一二〇八五	一一〇六六〇	二四四五
セメント	四八六六	三七七	八一〇六二	八一二八	四四
陶磁器	三八一六六	四一三六六	四二七四四	四一八六七	九五六八
鋼鐵製品及同部分品	二一三六四	三一二六六	二二四四七	一八六五四四	三八六四
鋼鐵ゴム製品	三四五六六	三一二六六	三四七〇四	三四八七七	二三六七
機械及同部分品	六〇四四	六〇一一〇	六四一六六	五六七六七	六〇七九
ラブラシュ	三三一	三五八	五一一七	五一三四六	△ 一二八
ムラブ及同部分品	一一三八〇	一一三一四	一六一四七	一五一六六六	一〇六三一
其他ノ類	二六一六三四	二一六六六	二三四六一七	二三六一三八六	二三六六六
其他ノ類計	二六一六一四	二一六六六	二三四六一七	二三六一三八六	二五六二一一
其他ノ雜品	一一六一〇六〇	一一〇六一二一	一一四六一一四	一一一六一六六	一〇四八一八
再輸出品計	二七一六六	二一三六七	二一八六〇七	二一二一六二四	二七一四八
輸入全計	二二一七六六	二〇六一一八	二一四六〇七四	二一二一六二四	二七一四八
食料品					
米及甲種粗生品	八	〇	四六四八	六六一	二六八
小麦	四一四八	五一二七	四三一六六八	四〇七四八	二四四〇
豆類	九六一三八	七一七五〇	七一六四八	三一六六八	一八六六一
其他	三四〇三四	三四三四	二六三六四	二二四六六	△ 三三四六
計	一六六〇八	一六六二二	一四七六六	一二六六三四	二一四六六一
砂糖	一四六四	六六八	一二七〇一	六六七七	三〇二二
乙製品					
牛肉(生)	二八六二	二五四一	六一二四	六六七七	△ 七六二
其他	二一六七二	二一六四八	二六一三六四	二一四六六四	△ 四六六四
類計	四一六八七	三一六四三	四四一一〇六	四八四二二	△ 三四〇四
計	二二一六六四	二〇一四四四	二六二六〇四	二七一四四八	二八一四七
原料品					
採油用原料	五一四〇八	三一六六八	四三一〇八	二六一二六七	一七一六二
原油及重油	八一五六六	八一六四四	一〇六一二六	八一二四八	二四三四四
生ゴム	五七五六六	四一四七	二一六五六	五七一四六六	△ 五七二二
粗製硝酸曹達	一〇三六六	七七〇	五一四二四	三一四六四	一六六六
硫酸アンモニウム(硫安)	八四一	一	二一〇六六	一三八〇七	七一二二
燐酸石灰	一六〇二	二一〇四	二一〇六〇	一六六七七	三三六四
綿	四四三	六六四	六一四七七	七一二二六	△ 七四四
綿ハンカチ製品	四一三二二	四一八四四	五〇一二六六	四七一六八八	二一四八
鉛筆類	一八六〇	一八七七	一六一六六	一七八六〇	△ 一四七六
鉛筆芯	一〇六五	一〇〇二	一〇一四三	九六六六	四六四四
身繕裝飾用品	一〇四五	一一四六	一一六一四	一〇一〇六六	一四三八
紙類	一八六六	一一〇六四	一二〇八五	一一〇六六〇	二四四五
セメント	四八六六	三七七	八一〇六二	八一二八	四四
陶磁器	三八一六六	四一三六六	四二七四四	四一八六七	九五六八
鋼鐵製品及同部分品	二一三六四	三一二六六	二二四四七	一八六五四四	三八六四
鋼鐵ゴム製品	三四五六六	三一二六六	三四七〇四	三四八七七	二三六七
機械及同部分品	六〇四四	六〇一一〇	六四一六六	五六七六七	六〇七九
ラブラシュ	三三一	三五八	五一一七	五一三四六	△ 一二八
ムラブ及同部分品	一一三八〇	一一三一四	一六一四七	一五一六六六	一〇六三一
其他ノ類	二六一六三四	二一六六六	二三四六一七	二三六一三八六	二三六六六
其他ノ類計	二六一六一四	二一六六六	二三四六一七	二三六一三八六	二五六二一一
其他ノ雜品	一一六一〇六〇	一一〇六一二一	一一四六一一四	一一一六一六六	一〇四八一八
再輸出品計	二七一六六	二一三六七	二一八六〇七	二一二一六二四	二七一四八
輸入全計	二二一七六六	二〇六一一八	二一四六〇七四	二一二一六二四	二七一四八
食料品					
米及甲種粗生品	八	〇	四六四八	六六一	二六八
小麦	四一四八	五一二七	四三一六六八	四〇七四八	二四四〇
豆類	九六一三八	七一七五〇	七一六四八	三一六六八	一八六六一
其他	三四〇三四	三四三四	二六三六四	二二四六六	△ 三三四六
計	一六六〇八	一六六二二	一四七六六	一二六六三四	二一四六六一
砂糖	一四六四	六六八	一二七〇一	六六七七	三〇二二
乙製品					
牛肉(生)	二八六二	二五四一	六一二四	六六七七	△ 七六二
其他	二一六七二	二一六四八	二六一三六四	二一四六六四	△ 四六六四
類計	四一六八七	三一六四三	四四一一〇六	四八四二二	△ 三四〇四
計	二二一六六四	二〇一四四四	二六二六〇四	二七一四四八	二八一四七
原料品					
採油用原料	五一四〇八	三一六六八	四三一〇八	二六一二六七	一七一六二
原油及重油	八一五六六	八一六四四	一〇六一二六	八一二四八	二四三四四
生ゴム	五七五六六	四一四七	二一六五六	五七一四六六	△ 五七二二
粗製硝酸曹達	一〇三六六	七七〇	五一四二四	三一四六四	一六六六
硫酸アンモニウム(硫安)	八四一	一	二一〇六六	一三八〇七	七一二二
燐酸石灰	一六〇二	二一〇四	二一〇六〇	一六六七七	三三六四

油脂	二一四二	二一四〇二	四八六六六	四二一〇四二	△ 二四四六
實綿及繰綿	七七二四四	六一四八八	七四一四六六	七四一四四六	△ 一七一六四
其他ノ植物纖維	三一二四	二一四二七	二七一四六四	二七一四六六	四四四
羊毛	二六一六四〇	一七一四二七	一六一七六一	一六六四六六	四三〇六
石炭	四四六六〇	二七一四二七	四四六七〇	四七一二四四	五三〇六
亜鉛鉱	四四一〇六	二一七一四	四四六七〇	四七一二四四	一六七四六
木材	二四六四二	二一三六六	四四七七四四	四〇一六四	六四六二
其他ノ類	八六六六	六七七	七四八六	八八六六	△ 一四七七
計	一六二一三六六	一四六一二〇	一四〇七六二〇	一四一四六四六	九二一七四四
原料用製品					
牛皮類	二一二六六	一四四四	二一六六四四	一六一二〇	四〇四六
羊皮類	四六六六	四四六	四四六六四四	四六六四〇	一一四
動植物脂類	一七四	二七六	二一四四〇	四一六六〇	△ 一〇四〇
合繊糸及天然繊維	六四四	四六〇	四四六二	四四四六六	一一四六
繊維糸	一四一一	一一四七	六一四六六	六一四七七	一六二
手織絨	二一四	七四	一六四一	一一七〇六	二二二四
製綿用パルプ	四四一七七	四四六二七	四四四一〇一	四四一六四六	一〇六四四
綿糸	四一二二四	四一二二四	四一一六〇	四六六四二六	一四六四二
シレール及レーヨン	一七四四	一四四	一一六六	四四二二	四四六
其他ノ綿	八八四〇	一六六二四	一六四六〇四	一四四六一四	一〇一七〇
アルミニウム	一七七六六	一八四六六	一八四六二二	二一四六六六	四七六六
銅(地金及塊)	二一六四二	一八二四二	一〇一二二	一七七〇四四	二一四六六
鉛(地金及塊)	二一六四二	四七七四四	四六四四四	二六一七一	一〇一二四
錫(地金及塊)	一四四二	六六六八	一四六六一	一四一二七	二六四
其他ノ鉱(鉱石及鉱滓)	四六六六	七七四四	八四〇四	七一二八	一一七四
其他ノ類計	六〇七四四	六六七〇六	六一七七二二	六一八八七	△ 一六二一四
食料品					
醤油(原油及重油ヲ除ク)(比重〇・二二〇以上)	七	一	八六	四二四	△ 二四六
同(比重〇・八七二以下)	二一七四二	二一一六八	三七一八六四	三四二四六	二一二六六
綿織物	八六	四六六	一一四六六	六六二二	二〇七
毛織物	四八四	八八	六七四六六	四一六六六	一四四四四
印刷紙類	六六八一	七二一	八一二二二	四六六六七	二四四四四
自動車及同部分品	二一六六六	四四六六三	三二一四六六	三二一二〇二	二六七
角燐寸類	一一三四六	一一六〇〇	一四一四六六	二〇一七六八	△ 四一二六
金屬工芸品	六六三〇	一一四四八	一六一二六六	二一四四三四	△ 四一一七
其他ノ類	一四六四四六	一四〇二八	一六六四四四	一四二一六六	二二四四
其他ノ雜品	二一八六六	二四六六二	二六六二四四	二六二六四四	二二四六
迂入計	二四四七〇七	二四二〇三四	二一六四六〇	二一七七一二四	一八六四七

再輸入品	六三一	四四六	六四六六	四四六六	一一〇七
輸入全計	二四六六四四八	二四二一四六二	二一七二一四六	二一八六一六〇二	一八六七六四四
輸出超過	—	—	二一六八四七	—	—
輸入超過	二四一七四二	四四四四四	—	二一〇六六七	—
金銀輸出					
金貨及銀地金	—	—	—	一	△ 一
銀貨及銀地金	二四六六七	三一四四八	二一二四四四	一二一六四	二一一四六一
迂入計	二四六六七	三一四四八	二一二四四四	一二一六四	二一一四六〇
金銀輸入					
金貨及銀地金	一七二	一一	七二	一	七二
銀貨及銀地金	一六七二	一一	七〇	四四一	△ 四一四
迂入計	二四六七〇	一一	一四二	四四一	△ 四一一
輸入出超過	二四六七七四	三一四四八	二一四二二四	一四六六四四	二一一七四一
輸入超過	—	—	—	—	—
輸出入	輸出入品及原産地ヲ合ム外國貿易額				
輸出	二四一三四四	二一六一二八	二一六〇四一六一	二一二六一六〇一	四四四一〇〇
迂入計	二六六二一三六四	二六六一一七七	二一六一七一六一	二一四〇〇四六六	二一七一六六六
輸出超過	—	—	—	—	—
金銀輸出	二四六六七〇	三一四四八	二一四六六二	二一四六六四	△ 二一一七七四
輸入	四八六七七	二一三	六〇一六六六	六六四	七六六二一一
輸入超過	二〇一一六	三一二七四	二四六六六四	二一四六六	二四四六七四
輸出超過	—	—	—	—	—

○産業

◎助成金交付

明和十年度ニ於テ左ノ通交付スル旨一昨二十日指令セリ(農林省)

道府縣	助成ノ種類	金額
北海道	種苗購入補助費ニ對シ	二五六〇〇〇四
宮城	種子種苗代費ニ對シ	一五〇〇〇
秋田	農作物種苗購入助成費ニ對シ	一〇〇〇〇
福島	水稲種子購入補助費	四〇〇〇〇
長野	農作物種苗更新助成費	一五〇〇〇
山梨	農作物種苗購入助成費	四〇〇〇
岩手	農作物種子購入助成費	三五〇〇〇
茨城	種子代付助成費	四〇〇〇〇
群馬	農作物種苗購入助成費	一六〇〇〇

◎鑛業登録

鑛業法ニ依リ處分スルモノ左ノ如シ(商工省)

出願番號	出願地	鑛種	面積	出願人住所氏名	處分ノ月日
同	千葉縣君津郡鴨川町	金銀銅	九六六〇〇坪	其他十五箇所	二十年四月
同	同	金銀銅	九六六〇〇	同	二一四
同	同	同

區別		發信	著信	合計	前年同期ニ對スル増減数	同上	料金	前年同期ニ對スル増減数	同上
札幌通信局管内	同	一、九六〇、〇〇〇	一、九四〇、〇〇〇	三、九〇〇、〇〇〇	一、二〇〇	一、二〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
仙臺通信局管内	同	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
東京通信局管内	同	九、八四一、七〇〇	九、八四一、七〇〇	一九、六八三、四〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
名古屋通信局管内	同	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
大阪通信局管内	同	九三八、〇〇〇	九三八、〇〇〇	一、八七六、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
廣島通信局管内	同	一〇二、〇〇〇	一〇二、〇〇〇	二〇四、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
熊本通信局管内	同	八八、〇〇〇	八八、〇〇〇	一七六、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
内地計	同	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
朝鮮	同	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
臺灣	同	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
樺太	同	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
南洋	同	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
樺太及上海	同	九八四、七〇〇	九八四、七〇〇	一、九六九、四〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
關東州（滿鐵附屬地ヲ含ム）外國	同	九三八、〇〇〇	九三八、〇〇〇	一、八七六、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
日滿（日本ヲ除ク）外國	同	八、〇〇〇、〇〇〇	八、〇〇〇、〇〇〇	一六、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
總計（備考）一、內地及各外地（關東州ヲ除ク）ノ內國電報中ニハ日滿電報ヲ含ム二、關東州（滿鐵附屬地ヲ含ム）ノ日滿電報ハ滿鐵附屬地ヲ含ム）滿洲國間發著電報（滿洲內電報）ヲ示ス三、內國電報ノ總計中ニハ日滿電報及滿洲內電報ヲ含ム	同	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇

以上事由 鐵業公益ヲ害スルモノト認ムルニ付不許可

○通運

◎電報通數及料金 昭和十年九月中內地、朝鮮、臺灣及其他ノ外地ニ於テ取扱タル電報通數及料金左ノ如シ（逓信省）

帝國議會

○貴族院

◎會議 昨二十一日ノ議事經過左ノ如シ

侯爵東郷彪請暇ノ件

右請暇ハ之ヲ許可ス

倫敦ニ於ケル海軍軍縮會議帝國全權委員ニ對スル感謝決議案（侯爵大隈信常外五名發議）

右議案ハ議事日程ヲ變更シテ之カ會議ヲ開キ全會一致ヲ以テ之ヲ可決ス

國務大臣ノ演說ニ關スル件

右件ハ之ヲ終了スル至ラスシテ延會ス

◎國務大臣出席 岡田內閣總理大臣、高橋大藏大臣、後藤內務大臣、大角海軍大臣、廣田外務大臣、小原司法大臣、町田商工大臣、山崎農林大臣、松田文部大臣、內田鐵道大臣、兒玉拓務大臣、川島陸軍大臣、望月遞信大臣ハ昨二十一日ノ會議ニ出席セリ

◎國務大臣演說 昨二十一日ノ會議ニ於テ岡田內閣總理大臣ハ施政方針ニ關シ、廣田外務大臣ハ外交ニ關シ各、演說ヲ爲セリ

◎國務大臣謝辭 昨二十一日ノ會議ニ於テ岡田內閣總理大臣ハ倫敦ニ於ケル海軍軍縮會議帝國全權委員ニ對スル感謝決議ニ對シ謝辭ヲ述ヘタリ

◎議案提出 昨二十一日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

倫敦ニ於ケル海軍軍縮會議帝國全權委員ニ對スル感謝決議案（侯爵大隈信常外五名發議）

◎決議文 昨二十一日可決シタル決議文左ノ如シ

倫敦ニ於ケル海軍軍縮會議帝國全權委員ニ對スル感謝決議

貴族院ハ倫敦海軍軍縮會議ニ於ケル帝國全權委員ノ努力ニ對シ深甚ナル感謝ノ意ヲ表ス

前掲ノ決議文ハ即日之ヲ外務大臣及海軍大臣ニ送致セリ

◎報告書受領 昨二十一日政府ヨリ左ノ報告書ヲ受領セリ

昭和九年四月一日ヨリ同十年三月三十一日ニ至ル朝鮮總督府所屬、臺灣總督府所屬及樺太廳所屬官有財產增減異動報告書

◎正副委員長互選 昨二十一日委員會ニ於テ正副委員長ヲ互選セリ其結果左ノ如シ

資格審査委員會

委員長 伯爵柳原 義光

副委員長 田所 美治

懲罰委員會

委員長 公爵島津 忠重

副委員長 木場 貞長

請願委員會

委員長 伯爵酒井 忠克

決算委員會

委員長 男爵辻 太郎

副委員長 子爵立花 種忠

◎分科決定及分科擔當委員選定 昨二十一日委員會ニ於テ分科ヲ決定シ擔當委員ヲ選定セリ其結果左ノ如シ

請願委員

第一分科（大藏省、農林省、商工省）

公爵岩倉 具榮
子爵大岡 忠綱
男爵三須 精一
藤山 雷太
山本 米三
山上 岩二
子爵片桐 貞央
三井清一郎
男爵岩村 一木
佐々木八十八
米原 章三

第二分科（外務省、內務省、文部省）

侯爵小村 捷治
松井 茂
柴田善三郎
男爵松平外與麿
吉田平治郎
濱口儀兵衛
子爵清岡 長言
宇佐美勝夫
男爵北島 貴孝
名取 忠愛
細田安兵衛

第三分科（內閣、司法省、遞信省、拓務省）

侯爵池田 宣政
子爵秋月 種英
男爵飯田精太郎
男爵杉溪 由言
伯爵酒井 忠克
子爵野村 小幡 西吉
黒崎 定三
堀 啓次郎
武井覺太郎
澁澤 金藏

第四分科（陸軍省、海軍省、鐵道省）

公爵島津 忠承
子爵今城 定政
男爵周布 兼道
板谷 宮吉
三橋 彌
青木孝次郎
侯爵井上 三郎
子爵井上 勝純
男爵山根 健男
光永 星郎
久米田新太郎

兼務

柴田善三郎
男爵飯田精太郎

決算委員

第一分科（歳入、大藏省）

公爵山縣 有道
男爵太多 政樹
上郎 清助
仲田傳之臣
金岡又左衛門
伯爵後藤 一藏
大橋新太郎
久恒 貞雄
野村 德七

第二分科（外務省、內務省、司法省）

侯爵德川 頼貞
子爵賀茂 純郎
男爵辻 太郎
大塚 惟精
大和田健三郎
加藤 憲通
仁井田益太郎
山岡萬之助
下出 民義

第三分科（陸軍省、海軍省）

侯爵大隈 信常
子爵立花 種忠
男爵關 義溶
石川 三郎
大澤德太郎
子爵立見 鼎丸
佐藤鐵太郎
男爵松田 正之
西太健次郎

兼務

男爵辻 太郎
金岡又左衛門
男爵安場 保健

第四分科（文部省、農林省、商工省、遞信省）

侯爵山階 芳麿
子爵植村 家治
男爵安場 保健
小林嘉平治
岩崎 清行
子爵米津 政賢
男爵橋元 正輝
坂野鉄次郎
絲原武太郎

兼務

男爵加藤 成之

第五分科（鐵道省、拓務省）

侯爵德川 義親
子爵戸澤 正己
男爵伊藤 一郎
阿部房次郎
高島 順作
伯爵有馬 頼寧
太田 政弘
男爵加藤 成之
林 平四郎

兼務

男爵橋元 正輝
坂野鉄次郎

◎書類配付 昨二十一日參考ノタメ左ノ書類ヲ配付（文書課ニ投入）セリ

昭和十一年度歳入歳出總豫算案

昭和十一年度各特別會計歳入歳出豫算案

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ニ關スル件

◎停會 昨二十一日岡田內閣總理大臣ヨリ貴族院ノ停會ヲ命スル旨ノ詔書ヲ傳達セラレタリ

○衆議院

◎議席變更 昨二十一日衆議院規則第十五條但書ニ依リ議長ニ於テ議席ヲ左ノ通變更セリ

番號			議席
一八二	松谷與二郎	正雄	七
二二四	工藤十三雄	一五	二二三
三四一	署本 太吉 東京府第一區選出議員	四〇八	二九三
番號			議席
一五	畑七右衛門	一巳	二二三
東	牧野	良三	二九三
四〇八	加藤鎌五郎		

◎會議 昨二十一日ノ本會議議事經過左ノ如シ

午後一時四十一分開議

議長ハ大不列顛國皇帝陛下崩御ニ付左ノ弔意ヲ表シ度旨發議ス

衆議院ハ謹ミテ大不列顛國皇帝ジョージ第五世陛下ノ崩御ヲ哀悼ス

右ハ全會一致可決ス

議長ハ倫敦海軍軍縮會議ニ於ケル帝國全權ノ努力ニ對シ左ノ謝意ヲ表シ度旨發議ス

衆議院ハ倫敦ニ於ケル海軍軍縮會議ニ於テ帝國全權カ公正妥當ナル不脅威不侵略ノ根本精神ヲ中外ニ闡明シタル努力ニ對シ深甚ナル謝意ヲ表ス

右ハ全會一致可決ス

岡田內閣總理大臣ハ右決議ニ對シ謝辭ヲ述フ

議長ハ議員西村丹治郎君本院議員トシテ在職三十年ニ達シタルニ付前期議會ノ例ニ依リ其ノ功勞ヲ表彰ス表彰文案ノ起草ハ議長ニ一任セラレ度旨發議ス

右ハ全會一致可決ス

議員正五位勳二等西村丹治郎君衆議院議員ニ當選スルコト十二回在職三十年ニ及ヒ恒ニ憲政ノ爲ニ盡瘁シ民意ノ暢達ニ努ム衆議院ハ君カ積年ノ功勞ヲ多トシ特ニ院議ヲ以テ之ヲ顯彰ス（議長起草）

右表彰文案ハ可決ス

西村丹治郎君ハ右決議ニ對シ謝辭ヲ述フ

議長ハ青木雷三郎君ヨリ成規ニ依リ議事日程ヲ變更シテ鈴木幸三郎君外二十三名提出決議案（內閣不信任ノ件）ヲ議題トスヘシトノ緊急動議ヲ提出セラレタルモ既ニ內閣總理大臣及大藏大臣ヨリ議事日程ニ入ル ニ先チ演說ノ通告アルヲ以テ先ツ其ノ發言ヲ許可シ次テ青木君提出ノ動議ヲ議題トス旨ヲ宣告ス

岡田內閣總理大臣ハ施政ノ方針ニ關シ、廣田外務大臣ハ外交ノ經過並方針ニ關シ、高橋大藏大臣ハ昭和十一年度豫算案並經濟界ノ情勢ニ關シ各演說ヲ爲ス

議長ハ內閣總理大臣ヨリ詔書傳達セラレタル旨ヲ告ケ捧讀ス

朕帝國憲法第七條ニ依リ衆議院ノ解散ヲ命ス

時ニ午後三時十三分

◎國務大臣出席 岡田內閣總理大臣、高橋大藏大臣、後藤內務大臣、大角海軍大臣、廣田外務大臣、小原司法大臣、町田商工大臣、山崎農林大臣、松田文部大臣、內田鐵道大臣、兒玉拓務大臣、川島陸軍大臣、望月遞信大臣ハ昨二十一日ノ會議ニ出席セリ

◎國務大臣演說 岡田內閣總理大臣、高橋大藏大臣、廣田外務大臣ハ昨二十一日ノ會議ニ於テ演說セリ

◎議案提出 昨二十一日政府ヨリ提出シタル議案左ノ如シ

昭和十一年度歳入歳出總豫算案並昭和十一年度各特別會計歳入歳出豫算案

豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲ス件

又同日議員ヨリ提出シタル議案左ノ如シ

大正九年法律第五十六號中改正法律案（北海道拓殖鐵道補助ニ關スル件）（山本厚三郎外五名提出）

青木川改修ニ關スル建議案（加藤鯛一提出）

決議案（內閣不信任ノ件）（鈴木幸三郎外二十三名提出）

◎決議送付 昨二十一日岡田內閣書記官長ヨリ大角海軍大臣、白根內閣書記官長宛左ノ決議ヲ送付セリ

一、海軍軍縮會議全權委員ニ對スル感謝決議

第2714号

又同日議長ヨリ議員西村丹治郎君宛左ノ決議ヲ送付セリ

一永年在職議員表彰ニ關スル決議

◎報告受領　昨二十一日政府ヨリ受領シタル報告左ノ如シ

昭和九年四月一日ヨリ昭和十年三月三十一日ニ至ル朝鮮總督府所屬、臺灣總督府所屬及樺太廳所屬官有財産增減異動報告（三冊）

◎質問書提出　昨二十一日議員ヨリ提出シタル質問主意書左ノ如シ

外國資本ノ内地一部産業獨占防止ニ關スル質問主意書（清水留三郎提出）

◎詔書傳達　昨二十一日岡田内閣總理大臣ヨリ衆議院ノ解散ヲ命スル旨ノ　詔書ヲ傳達セラレタリ

在外公館報告

◎上海經濟情況　本件ニ關スル本月十八日著中華民國駐在　商務書記官岩井光次郎電報左ノ如シ（外務省）

爲替ハ倫敦銀塊二十片ヲ割リ尚ホ先行敗調、本日標金約二十元方小落シ他方爲替ハ對日百二四四分ノ三、對英一志二片十六分ノ七、對米二十九弗十六分ノ十三マテ下落シタルカ外支銀行ノ先物買ニ對日百三四賣ニ引戻シボンヤ金融界ハ舊年末節季ニ賣掛代金ノ回收ヲ急キツ、アルカ金融業者ノ貸出引締ニテ一般商工業者モ掛賣手控ナルト又思惑取引行ハレス他方茲二三年來ノ不況ニテ相當整理セラレタル後ニモアリ舊年末ハ無事越年スルモノト見ラル公債ハ內債ノ利子引下、償還期間ノ延長トカ市場ニ流布セラレ二三元方暴落シ上海市商會及內債基金管理委員會八十六日附ヲ以テ財政部ニ對シ斯ル謠言ヲ取締リ市價ヲ維持スル樣請願電報ヲ發シタルカ當局ハ上海市商會及內債基金管理委員會トノ首腦者ヲ十七日南京ニ招致シ對策攻究中ナルカ現下ノ金融梗塞狀況ヨリ見テ重大ナル關心ヲ拂ハレツ、アリ紡績ハ原料高製品安ニテ日本人紡ハ全運轉ヲ行ヒツ、アルモ支那人紡ハ四割方操短ヲ行ヒ來ル二十日ヨリ二週間迄休ノ豫定ナル處最近ノ銀安ニ先高ヲ見越シテ買氣弗々操短シ舊正明ケノ奉需要ヲ控（强含ミ、綿布ハ年明ケ需要ヲ見越シテ安値ハ買取ラレ氣配良好

渡七圓五十錢ニテ約七千俵手合セ出來タルカ買氣アリ、金物ハ鐵材ニ商內弗々、木材ハ丸太レニ商內夥々、海產物ハ在荷豊富ニ日本商モ效目ナク不振、又人絹絲ハ密輸入品ニ押サレテ荷動キ殆ントナク毛織物、綿布ハ開散ナルカ大勢トシテハ大體ニ於テ年明ケヲ期待セラレツ、アリ

輸出品、棉實粕、粉末ハ大連特產高ニ日本ヨリノ買氣擡頭シ一月初メ以來約十二三萬袋買付ケラレ（內一萬袋日本ニ賣約濟）、後賣物海ト舊正關係ニテ商內見送ラレ難ハ日本ト三、四十錢ノ逆鞘ニ商內ナク菜種ハ賣物寥々、種粕ハ例年ニ比シ賣物稀薄、胡麻ハ一服狀態ナルカ各品共昨年內ニ相當ノ商內行ハレタル後ニテ賣物海ノタメ舊正明ケ後モ相場ノ微調ナキモノト觀測セラル

◎一九三五年英國綿布輸出額　本件ニ關スル本月十八日著英國駐在商務書記官朝日五十四電報左ノ如シ（外務省）

一九三五年中英國綿布總輸出量十九億四千九百十一萬二千平方碼、三千九百五十三萬九千五十六碼、對印五億四千三百九萬平方碼、七百四十九萬二千三百十六碼、對印內譯粗布一億八百四十二萬平方碼、曁一億六千六百三十三萬二千平方碼、撩染七千五百九十七萬二千平方碼、反染八千七百八十三萬九千平方碼、色物四百五十三萬平方碼

觀象

◎初霜

地名　本年初日　昨年比較　平年比較

御前崎　一月十九日　十二日晩シ　—

◎初雷

地名　本年初日　昨年比較　平年比較

勝浦　一月十五日　八日晩シ　十六日晩シ

◎全國氣象表（正午觀測）

（備考）氣溫ノ部一印ハ氷點下ノ度ヲ示シ降水量ノ部一印ハ前日午前六時迄ノ總量ナリ

一月十八日

地名	氣壓(粍)	風向	風速(米)	氣溫(攝氏)	天氣	降水量(粍)	風向	風速(米)	氣溫(攝氏)	天氣	降水量(粍)
室蘭	775.4	北西	2	9	曇	—	西北西	9	—4	快晴	—
釧路	774.5	北北西	6	—5	快晴	—	南南西	3	—11	快晴	—
網走	774.5	北北西	3	—2	快晴	—	西北西	4	—10	雲曇	—
◎東京氣象							西北西	1	—7	雲曇	—
一月十八日	天氣概況	快晴					西北西	2	—5	快晴	—
平均氣壓（海面ノ度）	平均雲量	七五七・三粍	平均氣溫	日照時間	最高氣溫	最低氣溫	最大風速度	最多風向	前五日間平均氣溫	降水量	平均濕度	平均水蒸氣張力
		0・0	九・二時	二・7%	三・七%	二・五粍	南西	—	一時間最大降水量	—	四七%	二・1粍

同一月十九日　天氣概況　晴

平均氣壓（海面ノ度）	平均雲量	七五八・八粍	平均氣溫	日照時間	最高氣溫	最低氣溫	最大風速度	最多風向	前五日間平均氣溫	降水量	平均濕度	平均水蒸氣張力
		二・三	八・七時	一・二%	七・八度	(—)五・八度	北	降水總量	一時間最大降水量	—	七五%	二・五粍

◎著作權登錄

登錄番號 登錄年月日	著作物ノ表示	著作者ノ氏名	著作年月日	著作ノ發行又ハ興行ノ年月日	登錄ノ原因
第二七四三號 昭和10・三・30	高潮掬太郎著作 天龍しぶき 全一篇（作詞）	高潮掬太郎	昭和10・一・六	二篇作 10・一・八	譲渡人 東京市蒲田區小林町二三四 譲受人 川崎市久根崎一二五 株式會社日本蓄音器商會

第27114号

第三七五五號ノ一 10・1・二・10 南洋一郎著作 海洋冒險物語 全一冊 10・10・三郵稅 沼田 宜政 同右

第三七五六號ノ一 10・1・二・10 高垣眸著作 快傑黑頭巾 全一冊 10・10・二郵稅 高垣 末男 同右

昭和十一年一月

◎學藝技術奬勵金品寄附

陸軍學藝技術奬勵金品寄附取扱手續ニ依リ受領シタル金品及寄附者ノ氏名左ノ如シ

昭和十一年一月十五日

昭和十年十一月一日同 東京市杉並區上荻窪 宜政
ノ四三 東京市小石川區管羽町 一善
三ノ一九 讓受人 川野 清治
東京府西多摩郡梅町 高垣 末男
東京市小石川區管羽町 同右
東京市杉並區上荻窪 一
三ノ一九 讓受人 石川 清治
東京市小石川區管羽町 同右
昭和十年十一月五日同

内務省

金品	現住所	氏名
東京府		
二五・七二	東京市深川區平野町三丁目一ノ二市立明川高等小學校代表	植松 久子
一・〇〇	同目黑區下目黑四ノ八六四山田豐彥方	櫻井 道子
三・〇〇	同區隈番町九七	櫻村千代子
二・一八	京都府	江川 茂野
一・七五	錢獻郡川西村	川西村青年團一
同	同會南支部代表	臼井 伊織
三・〇〇		好田太次郎
一〇・一六	桑名郡長島村役場內防婦人會長島村分會代表正五位勳三等	大日本國 太田 雄
兵庫縣		
五・〇〇	尼崎市西向島町代表	尼崎修養團 加藤 彙助
福岡縣		
五・一・一八	八幡市黑崎町代表	黑崎同志會代表 加藤 康一
一・五〇	同熊手町黑崎尋常高等小學校內報德會藤組代表	砂村 條郎
一・二〇	小倉市足原町四三九	長濱寺 玉井 外一名 虎雄
長崎縣		
二・四五	北高來郡諫早町女學校研究科終了生一名代表	森 三重子
福井縣		
一・五〇	歩兵第十九聯隊第二中隊歩兵等兵	今津 正男
千葉縣		
五〇〇・〇〇	安房郡館山北條町	北條一〇一 前田 キミ
石川縣		
一〇・〇〇	金澤市松ヶ枝町小學校代表	松ヶ枝町祿常
同	森山町	森山町小學校六年三組五七名代表
一・三六	同森山町	小學校六年三組卒業生四三名代表
一・七一	石川郡福南村學校兒童一六〇名代表	高橋 敏江
四・〇〇	江沼郡南郷村	南郷村小學校卒業生四一名代表
三・五〇	河北郡內灘村字大根布	中村 秀夫
		高山 誓重
靜岡縣		
三・五〇	靜岡市瓦場一、五三五ノ一	歩兵第三十四聯隊軍旗奉戴會代表正五位勳三等
三・五〇	同追手町二二九	八木 雄馬
一・八八	同大里	西高等小學校高等科女子卒業生一同
二・二五	田方郡上狩野村	狩野精肉店員
	二沼入營者二五名代表	未教育補充兵
三・五六	志太郡	和田村女子青年團田尻 實
一・七〇	北支部代表	藤ヶ谷まさ子
同	葉梨村	村立尋常高等小學校
一・七〇	尋六年生	長田 正己
一・七〇	同	丸山 平吉
一・七〇	同	田山 榮次
一・七〇	同校尋五年生	長田 英一
一・七〇	同	田山 勘次 太作
茨城縣		
二・〇〇	歩兵第二聯隊第七中隊	瀨戸井富二
一・〇〇	水戸聯隊區司令部扱	匿名
一・〇〇	同	匿名
一・〇〇	同	小池 勝雄
二・四四	多賀郡鵜形村西茨城郡岩間町小學校	岩間尋常高等尋六年第十四學級一同
北海道		
五〇・〇〇	旭川市六條通十九丁目一號	日蓮宗妙法寺寒行講代表 河本 英秀
一〇・〇五	帶廣市帶廣尋常小學校校內	帶廣尋常小學校代表 中島善長衛
八・七五	函館市	廣青年訓練所代表 中島善長衛
校長	高砂尋常小學校代表	山崎善太郎
朝鮮		
一・六〇	慶尚北道龍宮帝國在鄉軍人會事務所內	國防費一錢獻金會支部 三枝鉦三郎
代表		
一・〇〇	咸鏡南道甲山郡惠山邑	谷口 爲幸
滿洲國		
三〇・〇〇	間島省圖們市北一條路	丸山與三兵衛
同二十日		
東京府		
五〇・〇〇	東京市中野區文園町九	關 登
五〇・〇〇	同日本橋區通一丁目野村ビル四階	日米石油會社代表
		東京締役 增田增太郎
三〇・〇〇	同向島區寺島町二ノ二七	萩原 和正
新潟縣		
三〇・〇〇	三島郡片貝村	片貝尋常高等小學校元高二東組
岐阜縣		
一〇・〇〇	岐阜市長良	田ヶ脇町一同代表
九二・六一	太集郡席田村	佐々木正明
五〇・〇〇	同	愛國婦人會分會長 石原 芳夫
一〇・〇〇	同鷲田村大字横屋	北川 きた
七・四五	同郡	北方尋常高等小學校嶺員兒童一同
二・九〇	同	同
五〇・〇〇	稻葉郡加納町本町五丁目	上野 幸一
五・八〇	養老郡多藝村大字大墳	岸本 嘉市
七・〇〇	加茂郡下米田村小山	渡邊 鈴江
五・〇〇	同伊深村陽屋	農業基礎團體
一九・〇三	惠那郡坂下町坂下八三九ノ一	梅田 善助 外六名
五・〇〇	同町	坂下消防組一同
三・六八	同長島町久須見	昭和會一同
五・〇〇	十岐郡釜戸村字中切	有賀 幸三
一・六〇	同日吉村南垣外	渡邊喜佐夫
一・五〇	安八郡江東少年赤十字團中村	斑代表 桑山 義一
五・〇〇	可兒郡御嵩町	籠橋 重助
三・一〇	同	同姫治村今區 中町婦人會
三・〇〇	郡上郡八幡町大字島谷	鈴木 利平
一〇・〇〇		
三・〇〇	同東村字下沓部	藤田喜代松 しげ
長崎縣		
二五・〇〇	北松浦郡紐差村	カトリック教 浩
信徒代表		萩原
佐賀縣		
四・七〇	南松浦郡有川町江ノ濱三八三	小田 一郎
五・〇〇	滿洲國皇帝陛下擁伴事務所扱	匿名
宮城縣		
六・二七	本吉郡志津川町	帝國在鄉軍人會志津川町分會
一〇・〇〇	栗原郡志波姫村	志波姫村小學校長 佐藤 貞雄
神奈川縣		
五・〇〇	橫須賀市諏訪町三	高座郡茅ヶ崎町小和田 松本久次郎
四・五〇		
千葉縣		
一四・〇〇	銚子市イノ五五〇私立ヤマサ青年訓練所內	國防費一錢會ヤマサ支部代表 菖蒲谷義郷
靜岡縣		
一・〇〇	靜岡市長田	赤垣與四郎
四・〇〇	志太郡藤枝町婦人會小坂支部代表	小倉 周子
同藤枝町		成瀨 やす
二・三五	田方郡函南村桑原	秋山 正夫
三・六五		
一・〇〇	兵庫縣加古郡高砂町船頭町七	松本 福松
滋賀縣		
一・五〇	神崎郡北五箇莊村大字中筒尋常高等小學校生徒	北五 伊谷正一郎 外三名

福岡縣		
二・〇〇	八幡憲兵分遣隊扱	匿名
北海道		
三六四一	網走郡美幌町	上田流尺八美竹會代表 齊藤 武雄
一〇・〇〇	虻田郡喜茂別村字喜茂別番外地	及川 俊夫
臺灣		
五〇・〇〇	臺中市新高町四〇正五位勳五等	廣松 良臣
朝鮮		
五三・九三	咸鏡南道三水郡江鎭面新乭坡里國防費一錢獻金會新乭坡支部代表	玉置知之助

◎檢定教科用圖書

檢定年月日 目的ノ學校 並學科ノ種類 圖書名 卷冊 發行年月日 定價

檢定年月日	目的ノ學校並學科ノ種類	圖書名	卷冊	發行年月日	定價
昭和10・1・二・廿	師範學校 英語科	Tsuda English Readers (Revised Edition)	五	昭和10・1・二・三 修正四版	錢 五一
同					一二
同					四
同					五
同					一二
同					一二
同					一二

◎航空機登錄

昭和十年七、八月中登錄ヲ爲シタル航空機左ノ如シ

昭和十一年一月新規登錄

登錄番號	登錄記號	航空證明書 明番號	航空證明書 番號	有效期間	登錄月日	事由	所有者住所及氏名	定置場
七九五	BOBB	三、五八一	熱兵七一四	自一〇、七、三 至一一、一、二	七、三	特別檢査	東京市麹町區有樂町二ノ三 東京朝日新聞社內 日本學生航空聯盟	東京飛行場
七九六	BILD	三、五八四	三菱二九	自一〇、七、五 至一一、一、四	七、五	同	千葉縣千葉郡津田沼町鷺沼一四四〇番地 日本輕銀行倶樂部代表者 奈良原三次	同
七九七	BBRI	三、五八八	愛知一八	自一〇、七、六 至一一、一、五	七、六	同	堺市大濱南新公園地第一番地 井上 長一	同
七九八	BAPP	三、五九〇	川西二五	自一〇、七、九 至一一、一、八	七、九	同	東京市麹町區日比谷公園內 日本學生航空聯盟 洋部	東京飛行場
七九九	BEQH	三、五九六	山本五	自一〇、五、一一 至一〇、一、一〇	七、一五	製造檢査	神戸市須磨區大谷町二丁目三ノ一 山本 勳	同
八〇〇	BEVH	三、五九七	同 六	自一〇、六、一〇 至一〇、一、三一	同	同	同 右	同 右
八〇一	BAUC	三、五九九	米國二一三	自一〇、七、一七 至一〇、八、一六	七、一七	特別檢査	大阪市北區堂島上二丁目三十六番地 株式會社大阪毎日新聞社	大阪飛行場
八〇二	BDBA	三、六〇五	朝日二	自一〇、七、一九 至一一、一、八	七、一九	同	同市同區中之島三丁目三番地 株式會社朝日新聞社	東京飛行場
八〇三	BIFD	三、六〇六	伊藤七	同	右	同	東京市麹町區有樂町一丁目 東京日日新聞社	同
八〇四	BIOD	三、六〇七	同 九	同	右	同	福知 新次	同 右
八〇五	BIPD	三、六〇八	同一〇	同	右	同	同市深川區枝川町 地先 遠藤辰五郎	同
八〇六	BFOF	三、六一〇	三菱五六六	自一〇、七、一三 至一一、一、二一	七、一三	同	同市玉子區稻付西町三ノ五七 伊藤祥三郎	同
八〇七	BOOB	三、六一五	霧ヶ峯二一	自一〇、七、一六 至一一、一、二五	七、一六	同	神奈川縣高座郡藤沢村	同 右
八〇八	BODB	三、六一六	同二二	同	右	同	同	同 右
八〇九	BDAO	三、六一八	英工三八	自一〇、七、一九 至一一、一、六	七、二九	同	同市芝區田村町一丁目三番地ノ一 日本航空輸送株式會社	東京飛行場
八一〇	BIKL	三、六一九	熱兵七一二	自一〇、七、三〇 至一一、一、一九	七、三〇	同	愛知縣守山町字東春日井郡小幡一番地	同 上
八一一	BILL	三、六二二	御原一	同	右	同	同 右	同 上
八一二	BOHB	三、六二七	英國二七四	自一〇、八、二 至一一、二、一	八、二	同	東京市麹町區有樂町 東京朝日新聞社內 日本學生航空聯盟	東京飛行場
八一三	BIJD	三、六二八	川崎一二四九	同	右	同	千葉縣千葉郡津田沼町鷺沼一四四〇番地 日本輕銀行倶樂部代表者 奈良原三次	同
八一四	BNOB	三、六二九	鷹ヶ峯一五	同	右	同	同市神田區一ツ橋通二ノ四號 萩森 良藏	同 右
八一五	BOAB	三、六三〇	同一八	同	右	同	大阪市北區中之島三ノ三 株式會社朝日新聞社	東京飛行場
八一六	BDCA	三、六三四	朝日三	自一〇、八、五 至一一、二、四	八、五	製造檢査	同 右	同 右
八一七	BMOB	三、六三六	川崎一二四〇	自一〇、八、七 至一一、二、六	八、七	特別檢査	埼玉縣入間郡所澤町一七五五 梶原吾二郎	東京飛行場
八一八	BEXH	三、六四一	三菱六二八	自一〇、八、一二 至一一、二、一一	八、一二	同	東京市麹町區有樂町 東京朝日新聞社	東京飛行場
八一九	BEWH	三、六四六	神工一	自一〇、八、一七 至一一、二、一六	八、一七	製造檢査	日本學生航空聯盟 神戸市長田神戸高等工業學校 古宇田 實	同 上
八二〇	BGAF	三、六四七	川崎一一七七	同	右	同 右	東京市麹町區有樂町二ノ四 小野 英作	東京市深川區枝川町先埋立地
八二一	BOIB	三、六五一	同一一一	自一〇、八、二〇 至一一、二、九	八、二〇	同	同市同區同町二ノ三 東京朝日新聞社	東京飛行場
八二二	BOJB	三、六五九	英國S一B二〇	自一〇、八、二七 至一一、二、二六	八、二七	同	日本學生航空聯盟 內 同市本所區厩橋一ノ二四 朴 春琴	東京市浦田區羽田東京飛行場日本飛行學校
八二三	BAEX	三、六六一	三菱五六六	同	右	同	同市杉並區宿町二三一 飯沼金太郎	東京市深川區枝川町先埋立地
八二四	BABX	三、六六〇	中島一一六	同	右	同	埼玉縣入間郡所澤町四二一 深井彌之助	同 右
八二五	BFUF	三、六六一	陸兵七三八	同	右	同	千葉縣千葉郡津田沼町鷺沼一四四〇 日本輕飛行機倶樂部代表者 奈良原三次	同
八二六	BIQD	三、六六六	三菱五五五	自一〇、八、三〇 至一一、二、八	同	同	同	同 上

變更登錄

登錄番號	登錄記號	前番號（失效）	交付番號	有效期間	登錄月日	事由	所有者住所及氏名	定置場
三七五	BECB	三、三四五	三、五七九	自一〇、一、一 至一〇、一三、三一	七、一	定期檢査	株式會社報知新聞社	東京飛行場
二七四	BAXO	二、八四二	三、五八〇	自一〇、七、二 至一一、一、一	七、二	臨時檢査	日本航空輸送株式會社	同
六一〇	BCPO	三、三六三	三、五八一	自一〇、七、三 至一一、一、二	七、三	定期檢査	同	右
六九七	BGOD	三、一〇五	三、五八三	自一〇、七、五 至一一、一、四	七、五	同	奈良原三次	同 右
七四六	BIAD	三、四〇八	三、五八五	同	右	同	平松 時善	臨時檢査
四六七	BBOF	三、一六五	三、五八六	同	右	同	飯沼金太郎	定期檢査
三六五	BEOG	三、三六二	三、五八七	同	右	同	日本航空輸送株式會社	臨時檢査
六八〇	BAFP	三、四〇四	三、五八九	自一〇、七、六 至一一、一、五	七、六	臨時檢査	日本學生航空聯盟	同
四四三	BEFD	三、一九六	三、五九一	自一〇、七、九 至一一、一、八	七、九	定期檢査	惠美 重美	同
四九〇	BGEB	三、一三一	三、五九二	同	右	同	相羽 有	同 右
七二一	BBMI	三、一八四	三、五九三	自一〇、七、一一 至一一、一、一〇	七、一一	臨時檢査	義勇財團海防義會	同
七二七	BGUD	三、二一九	三、五九四	同	右	同	伊原 貞敏	定期檢査
三四八	BBEG	三、一六一	三、五九五	自一〇、七、一五 至一一、一、一四	七、一五	同	土谷 全次	同 右
五三八	BCOF	二、八七九	三、五九九	自一〇、七、一八 至一一、一、一七	七、一八	特別檢査	千葉縣千葉郡津田沼町五番地 青木 松次	株式會社日本電報通信社
五四二	BAPJ	三、三一三	三、六〇〇	同	右	同	秋谷マリエ	定期檢査
七三五	BEWF	三、三四三	三、六〇一	同	右	同	日本學生航空聯盟	同 右
六九三	BJIB	三、四三三	三、六〇二	自一〇、七、八 至一〇、九、九	同	同	東京飛行場	特別檢査
二三九	BAWG	二、六九七	三、六〇三	自一〇、七、八 至一一、一、一〇	同	右	財團法人帝國議會協會	株式會社大阪毎日新聞社
四〇八	BAKC	三、三八二	三、六〇四	自一〇、七、九 至一一、一、八	七、一九	定期檢査	磯部 鉄吉	特別檢査
四三六	BEGD	二、五九一	三、六〇九	同	右	同	日本航空輸送株式會社	臨時檢査
三六五	BEOG	三、五八七	三、六一一	自一〇、七、二四 至一一、一、二〇	七、二四	臨時檢査	野中 楠吉	株式會社報知新聞社
六八四	BCYO	三、八一一	三、六一二	同	右	定期檢査	正力松太郎	東京飛行場
六八四	BATC	三、一〇一	三、六一三	自一〇、七、二五 至一一、一、二〇	八、二一	同	鈴木 菊雄	右
四三一	BEED	三、二一五	三、六一四	同	右	同	同	右
六二八	BIVB	三、三七三	三、六一五	自一〇、七、二四 至一一、一、二三	同	右	高崎市九藏町七 副會長 山田 德藏	同
七一四	BENG	三、一七六	三、六一四	自一〇、七、二六 至一一、一、二五	七、二六	同	山梨縣在郷軍人航空研究會 玉幡村	山梨縣中巨摩郡
六九三	BJIB	三、六〇二	三、六一七	同	右	同	大阪市大正區船町一大阪飛行機製作所代表者 乾 將顯	大阪市東成區大阪城東練兵場
四五三	BDIL	三、三五六	三、六一〇	自一〇、七、三〇 至一一、一、二九	七、三〇	定期檢査	御原 福平	同 右
六四五	BGIL	三、三八六	三、六一一	同	右	同	同 右	同 右
五七七	BEUL	三、一七〇	三、六一三	同	右	同	野田 金一	同 右
七〇一	BEGG	三、一一〇	三、六一四	同	右	同	株式會社蒲松飛行機製作所	同 右
五五九	BAQJ	三、三五一	三、六一五	同	右	同	合資會社新愛知新聞社	同 右
三三〇	BAMJ	三、三五八	三、六一六	同	右	同	同 右	同 右
七〇七	BKEB	三、一三六	三、六一三	自一〇、八、五 至一一、二、四	八、五	同	相羽 有	同
五九一	BIFB	三、四〇五	三、六二一	同	右	同	株式會社東京朝日新聞社	同 右
六七九	BIHEL	三、三五七	三、六二五	自一〇、八、七 至一一、二、五	八、七	同	御原 福平	同 右
七四一	BLEB	三、三七七	三、六二一	自一〇、八、五 至一一、二、四	八、五	同	日本學生航空聯盟	同 右
二八六	BJOB	三、五〇八	三、六二八	自一〇、八、七 至一一、二、八	八、七	臨時檢査	日本航空輸送株式會社	大阪市東成區大阪城東練兵場
七三二	BGYD	三、三三五	三、六二九	自一〇、八、九 至一一、二、八	八、一〇	定期檢査	蘆原 唉平	同 右
七三四	BKYB	三、三三七	三、六三〇	同	右	同	藤森 良藏	同 右
六九九	BEFH	三、三三〇	三、六三四	自一〇、八、二二 至一一、二、一一	八、二二	同	笹川 良一	同 右
七一〇	BEIH	三、六〇	三、六三三	同	右	同	同 右	臨時檢査
六九四	BDAB	三、三七六	三、六三二	同	右	同	日本學生航空聯盟	同 右
七二四	BEJH	三、三〇四	三、六三四	同	右	同	笹川 良一	定期檢査
六〇七	BEZL	三、三八五	三、六三五	自一〇、八、一〇 至一一、二、一九	八、一〇	同	御原 福平	同 右
二八五	BBOC	三、三八〇	三、六三四	同	右	同	日本航空輸送株式會社	同 右
五八九	BCUH	三、二一六	三、六三〇	同	右	同	野中 楠吉	同 右
四二一	BESB	三、六三四	三、六三一	自一〇、八、二三 至一一、二、二〇	八、二一	同	株式會社報知新聞社	東京飛行場
七〇四	BATC	三、一〇一	三、六三三	同	右	同	正力松太郎	同 右
四三一	BEED	三、二一五	三、六三四	同	右	同	鈴木 菊雄	同 右

第27114号 官報

◉營業停止

東京市目黒區東町三十四番地
十年十二月二十五日ヨリ二月二十日間　古物商　今井　英作
同市同區清水町三百六番地小山庄八方
同日ヨリ三十日間　同　長澤德太郎
右ニ對シ各頭書ノ期間其營業ヲ停止セリ　警視廳

◉所屬未定地編入

町村制第三條ノ規定ニ依ル左記所屬未定地ヲ本月八日ヨリ當該ノ區域ニ編入セリ
昭和十一年一月　長崎縣
南松浦郡奥浦村平蔵郷字妙光千四百九十九番ノ三地先　同
三十坪

◉町村境界變更

耕地整理施行ノタメ西蒲原郡巻町、同郡岩室村及同郡峰岡村ノ境界ヲ左ノ通變更シ來ル二月一日ヨリ施行ス
昭和十一年一月　新潟縣
巻町大字巻字西野自乙一一七一至乙一一七三乙一一八六ノ一、乙一一八六ノ二、乙一一三五ノ一、乙一一三五ノ二、自乙一一三五五、自乙一一三五七三至乙一一五七三四九ノ二、乙一一三五ノ一、乙一一九一甲、一二九一乙、自一二九二至一二九七ノ一、一二九七ノ二、一二九八ノ一、一二九八ノ二、一二九九ノ一、一二九九ノ二、一二九九ノ三、一二九九ノ四、一二九九ノ五、自一二〇〇四至一二〇一三
右岩室村大字堀山新田字外沼ニ編入
巻町大字堀山新田字外沼ニ編入
九至一九二一、一八五八ノ二、一八五九ノ二、一八五九ノ三、一八五九ノ四、一八五九ノ五、一八五九ノ六、一八五九ノ七、一八五九ノ八、一八五九ノ九、一八五九ノ一〇、一八五九ノ一一、一八五九ノ一二、一八五九ノ一三、一八五九ノ一四、一八五九ノ一五、一八五九ノ一六、一八五九ノ一七、一八五九ノ一八、一八五九ノ一九、一八五九ノ二〇、一八五九ノ二一、一八五九ノ二二、一八五九ノ二三、一八五九ノ二四、一八五九ノ二五、一八五九ノ二六、一八五九ノ二七、一八五九ノ二八、一八五九ノ二九、一八五九ノ三〇、一八五九ノ三一、一八五九ノ三二、一八五九ノ三三、一八五九ノ三四、一八五九ノ三五、一八五九ノ三六、一八五九ノ三七、一八五九ノ三八、一八五九ノ三九、一八五九ノ四〇、一八五九ノ四一、一八五九ノ四二、一八五九ノ四三、一八五九ノ四四、一八五九ノ四五、一八五九ノ四六、一八五九ノ四七、一八五九ノ四八、一八五九ノ四九、一八五九ノ五〇、一八五九ノ五一、一八五九ノ五二、一八五九ノ五三、一八五九ノ五四、一八五九ノ五五、一八五九ノ五六、一八五九ノ五七、一八五九ノ五八、一八五九ノ五九、一八五九ノ六〇、一八五九ノ六一、一八五九ノ六二、一八五九ノ六三、一八五九ノ六四、一八五九ノ六五、一八五九ノ六六、一八五九ノ六七、一八五九ノ六八、一八五九ノ六九、一八五九ノ七〇、一八五九ノ七一、一八五九ノ七二、一八五九ノ七三、一八五九ノ七四、一八五九ノ七五、一八五九ノ七六、一八五九ノ七七、一八五九ノ七八、一八五九ノ七九、一八五九ノ八〇、一八五九ノ八一、一八五九ノ八二、一八五九ノ八三、一八五九ノ八四、一八五九ノ八五、一八五九ノ八六、一八五九ノ八七、一八五九ノ八八、一八五九ノ八九、一八五九ノ九〇、一八五九ノ九一、一八五九ノ九二、一八五九ノ九三、一八五九ノ九四、一八五九ノ九五、一八五九ノ九六、一八五九ノ九七、一八五九ノ九八、一八五九ノ九九、一八五九ノ一〇〇、一八五九ノ一〇一、一八五九ノ一〇二、一八五九ノ一〇三、一八五九ノ一〇四、一八五九ノ一〇五、一八五九ノ一〇六、一八五九ノ一〇七、一八五九ノ一〇八、一八五九ノ一〇九、一八五九ノ一一〇、一八五九ノ一一一、一八五九ノ一一二、一八五九ノ一一三、一八五九ノ一一四、一八五九ノ一一五、一八五九ノ一一六、一八五九ノ一一七、一八五九ノ一一八、一八五九ノ一一九、一八五九ノ一二〇、一八五九ノ一二一、一八五九ノ一二二、一八五九ノ一二三、一八五九ノ一二四、一八五九ノ一二五、一八五九ノ一二六、一八五九ノ一二七、一八五九ノ一二八、一八五九ノ一二九、一八五九ノ一三〇、一八五九ノ一三一、一八五九ノ一三二、一八五九ノ一三三、一八五九ノ一三四、一八五九ノ一三五、一八五九ノ一三六、一八五九ノ一三七、一八五九ノ一三八、一八五九ノ一三九、一八五九ノ一四〇、一八五九ノ一四一、一八五九ノ一四二、一八五九ノ一四三、一八五九ノ一四四、一八五九ノ一四五、一八五九ノ一四六、一八五九ノ一四七、一八五九ノ一四八、一八五九ノ一四九、一八五九ノ一五〇、一八五九ノ一五一、一八五九ノ一五二、一八五九ノ一五三、一八五九ノ一五四、一八五九ノ一五五、一八五九ノ一五六、一八五九ノ一五七、一八五九ノ一五八、一八五九ノ一五九、一八五九ノ一六〇、一八五九ノ一六一、一八五九ノ一六二、一八五九ノ一六三、一八五九ノ一六四、一八五九ノ一六五、一八五九ノ一六六、一八五九ノ一六七、一八五九ノ一六八、一八五九ノ一六九、一八五九ノ一七〇、一八五九ノ一七一、一八五九ノ一七二、一八五九ノ一七三、一八五九ノ一七四、一八五九ノ一七五、一八五九ノ一七六、一八五九ノ一七七、一八五九ノ一七八、一八五九ノ一七九、一八五九ノ一八〇、一八五九ノ一八一、一八五九ノ一八二、一八五九ノ一八三、一八五九ノ一八四、一八五九ノ一八五、一八五九ノ一八六、一八五九ノ一八七、一八五九ノ一八八、一八五九ノ一八九、一八五九ノ一九〇、一八五九ノ一九一、一八五九ノ一九二、一八五九ノ一九三、一八五九ノ一九四、一八五九ノ一九五、一八五九ノ一九六、一八五九ノ一九七、一八五九ノ一九八、一八五九ノ一九九、一八五九ノ二〇〇、一八五九ノ二〇一、一八五九ノ二〇二、一八五九ノ二〇三、一八五九ノ二〇四、一八五九ノ二〇五、一八五九ノ二〇六、一八五九ノ二〇七、一八五九ノ二〇八、一八五九ノ二〇九、一八五九ノ二一〇、一八五九ノ二一一、一八五九ノ二一二、一八五九ノ二一三、一八五九ノ二一四、一八五九ノ二一五、一八五九ノ二一六、一八五九ノ二一七、一八五九ノ二一八、一八五九ノ二一九、一八五九ノ二二〇、一八五九ノ二二一、一八五九ノ二二二、一八五九ノ二二三、一八五九ノ二二四、一八五九ノ二二五、一八五九ノ二二六、一八五九ノ二二七、一八五九ノ二二八、一八五九ノ二二九、一八五九ノ二三〇、一八五九ノ二三一、一八五九ノ二三二、一八五九ノ二三三、一八五九ノ二三四、一八五九ノ二三五、一八五九ノ二三六、一八五九ノ二三七、一八五九ノ二三八、一八五九ノ二三九、一八五九ノ二四〇、一八五九ノ二四一、一八五九ノ二四二、一八五九ノ二四三、一八五九ノ二四四、一八五九ノ二四五、一八五九ノ二四六、一八五九ノ二四七、一八五九ノ二四八、一八五九ノ二四九、一八五九ノ二五〇、一八五九ノ二五一、一八五九ノ二五二、一八五九ノ二五三、一八五九ノ二五四、一八五九ノ二五五、一八五九ノ二五六、一八五九ノ二五七、一八五九ノ二五八、一八五九ノ二五九、一八五九ノ二六〇、一八五九ノ二六一、一八五九ノ二六二、一八五九ノ二六三、一八五九ノ二六四、一八五九ノ二六五、一八五九ノ二六六、一八五九ノ二六七、一八五九ノ二六八、一八五九ノ二六九、一八五九ノ二七〇、一八五九ノ二七一、一八五九ノ二七二、一八五九ノ二七三、一八五九ノ二七四、一八五九ノ二七五、一八五九ノ二七六、一八五九ノ二七七、一八五九ノ二七八、一八五九ノ二七九、一八五九ノ二八〇、一八五九ノ二八一、一八五九ノ二八二、一八五九ノ二八三、一八五九ノ二八四、一八五九ノ二八五、一八五九ノ二八六、一八五九ノ二八七、一八五九ノ二八八、一八五九ノ二八九、一八五九ノ二九〇、一八五九ノ二九一、一八五九ノ二九二、一八五九ノ二九三、一八五九ノ二九四、一八五九ノ二九五、一八五九ノ二九六、一八五九ノ二九七、一八五九ノ二九八、一八五九ノ二九九、一八五九ノ三〇〇、一八五九ノ三〇一、一八五九ノ三〇二、一八五九ノ三〇三、一八五九ノ三〇四、一八五九ノ三〇五、一八五九ノ三〇六、一八五九ノ三〇七、一八五九ノ三〇八、一八五九ノ三〇九、一八五九ノ三一〇、一八五九ノ三一一、一八五九ノ三一二、一八五九ノ三一三、一八五九ノ三一四、一八五九ノ三一五、一八五九ノ三一六、一八五九ノ三一七、一八五九ノ三一八、一八五九ノ三一九、一八五九ノ三二〇、一八五九ノ三二一、一八五九ノ三二二、一八五九ノ三二三、一八五九ノ三二四、一八五九ノ三二五、一八五九ノ三二六、一八五九ノ三二七、一八五九ノ三二八、一八五九ノ三二九、一八五九ノ三三〇、一八五九ノ三三一、一八五九ノ三三二、一八五九ノ三三三、一八五九ノ三三四、一八五九ノ三三五、一八五九ノ三三六、一八五九ノ三三七、一八五九ノ三三八、一八五九ノ三三九、一八五九ノ三四〇、一八五九ノ三四一、一八五九ノ三四二、一八五九ノ三四三、一八五九ノ三四四、一八五九ノ三四五、一八五九ノ三四六、一八五九ノ三四七、一八五九ノ三四八、一八五九ノ三四九、一八五九ノ三五〇、一八五九ノ三五一、一八五九ノ三五二、一八五九ノ三五三、一八五九ノ三五四、一八五九ノ三五五、一八五九ノ三五六、一八五九ノ三五七、一八五九ノ三五八、一八五九ノ三五九、一八五九ノ三六〇、一八五九ノ三六一、一八五九ノ三六二、一八五九ノ三六三、一八五九ノ三六四、一八五九ノ三六五、一八五九ノ三六六、一八五九ノ三六七、一八五九ノ三六八、一八五九ノ三六九、一八五九ノ三七〇、一八五九ノ三七一、一八五九ノ三七二、一八五九ノ三七三、一八五九ノ三七四、一八五九ノ三七五、一八五九ノ三七六、一八五九ノ三七七、一八五九ノ三七八、一八五九ノ三七九、一八五九ノ三八〇、一八五九ノ三八一、一八五九ノ三八二、一八五九ノ三八三、一八五九ノ三八四、一八五九ノ三八五、一八五九ノ三八六、一八五九ノ三八七、一八五九ノ三八八、一八五九ノ三八九、一八五九ノ三九〇、一八五九ノ三九一、一八五九ノ三九二、一八五九ノ三九三、一八五九ノ三九四、一八五九ノ三九五、一八五九ノ三九六、一八五九ノ三九七、一八五九ノ三九八、一八五九ノ三九九、一八五九ノ四〇〇、一八五九ノ四〇一、一八五九ノ四〇二、一八五九ノ四〇三、一八五九ノ四〇四、一八五九ノ四〇五、一八五九ノ四〇六、一八五九ノ四〇七、一八五九ノ四〇八、一八五九ノ四〇九、一八五九ノ四一〇、一八五九ノ四一一、一八五九ノ四一二、一八五九ノ四一三、一八五九ノ四一四、一八五九ノ四一五、一八五九ノ四一六、一八五九ノ四一七、一八五九ノ四一八、一八五九ノ四一九、一八五九ノ四二〇、一八五九ノ四二一、一八五九ノ四二二、一八五九ノ四二三、一八五九ノ四二四、一八五九ノ四二五、一八五九ノ四二六、一八五九ノ四二七、一八五九ノ四二八、一八五九ノ四二九、一八五九ノ四三〇、一八五九ノ四三一、一八五九ノ四三二、一八五九ノ四三三、一八五九ノ四三四、一八五九ノ四三五、一八五九ノ四三六、一八五九ノ四三七、一八五九ノ四三八、一八五九ノ四三九、一八五九ノ四四〇、一八五九ノ四四一、一八五九ノ四四二、一八五九ノ四四三、一八五九ノ四四四、一八五九ノ四四五、一八五九ノ四四六、一八五九ノ四四七、一八五九ノ四四八、一八五九ノ四四九、一八五九ノ四五〇、一八五九ノ四五一、一八五九ノ四五二、一八五九ノ四五三、一八五九ノ四五四、一八五九ノ四五五、一八五九ノ四五六、一八五九ノ四五七、一八五九ノ四五八、一八五九ノ四五九、一八五九ノ四六〇、一八五九ノ四六一、一八五九ノ四六二、一八五九ノ四六三、一八五九ノ四六四、一八五九ノ四六五、一八五九ノ四六六、一八五九ノ四六七、一八五九ノ四六八、一八五九ノ四六九、一八五九ノ四七〇、一八五九ノ四七一、一八五九ノ四七二、一八五九ノ四七三、一八五九ノ四七四、一八五九ノ四七五、一八五九ノ四七六、一八五九ノ四七七、一八五九ノ四七八、一八五九ノ四七九、一八五九ノ四八〇、一八五九ノ四八一、一八五九ノ四八二、一八五九ノ四八三、一八五九ノ四八四、一八五九ノ四八五、一八五九ノ四八六、一八五九ノ四八七、一八五九ノ四八八、一八五九ノ四八九、一八五九ノ四九〇、一八五九ノ四九一、一八五九ノ四九二、一八五九ノ四九三、一八五九ノ四九四、一八五九ノ四九五、一八五九ノ四九六、一八五九ノ四九七、一八五九ノ四九八、一八五九ノ四九九、一八五九ノ五〇〇、一八五九ノ五〇一、一八五九ノ五〇二、一八五九ノ五〇三、一八五九ノ五〇四、一八五九ノ五〇五、一八五九ノ五〇六、一八五九ノ五〇七、一八五九ノ五〇八、一八五九ノ五〇九、一八五九ノ五一〇、一八五九ノ五一一、一八五九ノ五一二、一八五九ノ五一三、一八五九ノ五一四、一八五九ノ五一五、一八五九ノ五一六、一八五九ノ五一七、一八五九ノ五一八、一八五九ノ五一九、一八五九ノ五二〇、一八五九ノ五二一、一八五九ノ五二二、一八五九ノ五二三、一八五九ノ五二四、一八五九ノ五二五、一八五九ノ五二六、一八五九ノ五二七、一八五九ノ五二八、一八五九ノ五二九、一八五九ノ五三〇、一八五九ノ五三一、一八五九ノ五三二、一八五九ノ五三三、一八五九ノ五三四、一八五九ノ五三五、一八五九ノ五三六、一八五九ノ五三七、一八五九ノ五三八、一八五九ノ五三九、一八五九ノ五四〇、一八五九ノ五四一、一八五九ノ五四二、一八五九ノ五四三、一八五九ノ五四四、一八五九ノ五四五、一八五九ノ五四六、一八五九ノ五四七、一八五九ノ五四八、一八五九ノ五四九、一八五九ノ五五〇、一八五九ノ五五一、一八五九ノ五五二、一八五九ノ五五三、一八五九ノ五五四、一八五九ノ五五五、一八五九ノ五五六、一八五九ノ五五七、一八五九ノ五五八、一八五九ノ五五九、一八五九ノ五六〇、一八五九ノ五六一、一八五九ノ五六二、一八五九ノ五六三、一八五九ノ五六四、一八五九ノ五六五、一八五九ノ五六六、一八五九ノ五六七、一八五九ノ五六八、一八五九ノ五六九、一八五九ノ五七〇、一八五九ノ五七一、一八五九ノ五七二、一八五九ノ五七三、一八五九ノ五七四、一八五九ノ五七五、一八五九ノ五七六、一八五九ノ五七七、一八五九ノ五七八、一八五九ノ五七九、一八五九ノ五八〇、一八五九ノ五八一、一八五九ノ五八二、一八五九ノ五八三、一八五九ノ五八四、一八五九ノ五八五、一八五九ノ五八六、一八五九ノ五八七、一八五九ノ五八八、一八五九ノ五八九、一八五九ノ五九〇、一八五九ノ五九一、一八五九ノ五九二、一八五九ノ五九三、一八五九ノ五九四、一八五九ノ五九五、一八五九ノ五九六、一八五九ノ五九七、一八五九ノ五九八、一八五九ノ五九九、一八五九ノ六〇〇、一八五九ノ六〇一、一八五九ノ六〇二、一八五九ノ六〇三、一八五九ノ六〇四、一八五九ノ六〇五、一八五九ノ六〇六、一八五九ノ六〇七、一八五九ノ六〇八、一八五九ノ六〇九、一八五九ノ六一〇、一八五九ノ六一一、一八五九ノ六一二、一八五九ノ六一三、一八五九ノ六一四、一八五九ノ六一五、一八五九ノ六一六、一八五九ノ六一七、一八五九ノ六一八、一八五九ノ六一九、一八五九ノ六二〇、一八五九ノ六二一、一八五九ノ六二二、一八五九ノ六二三、一八五九ノ六二四、一八五九ノ六二五、一八五九ノ六二六、一八五九ノ六二七、一八五九ノ六二八、一八五九ノ六二九、一八五九ノ六三〇、一八五九ノ六三一、一八五九ノ六三二、一八五九ノ六三三、一八五九ノ六三四、一八五九ノ六三五、一八五九ノ六三六、一八五九ノ六三七、一八五九ノ六三八、一八五九ノ六三九、一八五九ノ六四〇、一八五九ノ六四一、一八五九ノ六四二、一八五九ノ六四三、一八五九ノ六四四、一八五九ノ六四五、一八五九ノ六四六、一八五九ノ六四七、一八五九ノ六四八、一八五九ノ六四九、一八五九ノ六五〇、一八五九ノ六五一、一八五九ノ六五二、一八五九ノ六五三、一八五九ノ六五四、一八五九ノ六五五、一八五九ノ六五六、一八五九ノ六五七、一八五九ノ六五八、一八五九ノ六五九、一八五九ノ六六〇、一八五九ノ六六一、一八五九ノ六六二、一八五九ノ六六三、一八五九ノ六六四、一八五九ノ六六五、一八五九ノ六六六、一八五九ノ六六七、一八五九ノ六六八、一八五九ノ六六九、一八五九ノ六七〇、一八五九ノ六七一、一八五九ノ六七二、一八五九ノ六七三、一八五九ノ六七四、一八五九ノ六七五、一八五九ノ六七六、一八五九ノ六七七、一八五九ノ六七八、一八五九ノ六七九、一八五九ノ六八〇、一八五九ノ六八一、一八五九ノ六八二、一八五九ノ六八三、一八五九ノ六八四、一八五九ノ六八五、一八五九ノ六八六、一八五九ノ六八七、一八五九ノ六八八、一八五九ノ六八九、一八五九ノ六九〇、一八五九ノ六九一、一八五九ノ六九二、一八五九ノ六九三、一八五九ノ六九四、一八五九ノ六九五、一八五九ノ六九六、一八五九ノ六九七、一八五九ノ六九八、一八五九ノ六九九、一八五九ノ七〇〇、一八五九ノ七〇一、一八五九ノ七〇二、一八五九ノ七〇三、一八五九ノ七〇四、一八五九ノ七〇五、一八五九ノ七〇六、一八五九ノ七〇七、一八五九ノ七〇八、一八五九ノ七〇九、一八五九ノ七一〇、一八五九ノ七一一、一八五九ノ七一二、一八五九ノ七一三、一八五九ノ七一四、一八五九ノ七一五、一八五九ノ七一六、一八五九ノ七一七、一八五九ノ七一八、一八五九ノ七一九、一八五九ノ七二〇、一八五九ノ七二一、一八五九ノ七二二、一八五九ノ七二三、一八五九ノ七二四、一八五九ノ七二五、一八五九ノ七二六、一八五九ノ七二七、一八五九ノ七二八、一八五九ノ七二九、一八五九ノ七三〇、一八五九ノ七三一、一八五九ノ七三二、一八五九ノ七三三、一八五九ノ七三四、一八五九ノ七三五、一八五九ノ七三六、一八五九ノ七三七、一八五九ノ七三八、一八五九ノ七三九、一八五九ノ七四〇、一八五九ノ七四一、一八五九ノ七四二、一八五九ノ七四三、一八五九ノ七四四、一八五九ノ七四五、一八五九ノ七四六、一八五九ノ七四七、一八五九ノ七四八、一八五九ノ七四九、一八五九ノ七五〇、一八五九ノ七五一、一八五九ノ七五二、一八五九ノ七五三、一八五九ノ七五四、一八五九ノ七五五、一八五九ノ七五六、一八五九ノ七五七、一八五九ノ七五八、一八五九ノ七五九、一八五九ノ七六〇、一八五九ノ七六一、一八五九ノ七六二、一八五九ノ七六三、一八五九ノ七六四、一八五九ノ七六五、一八五九ノ七六六、一八五九ノ七六七、一八五九ノ七六八、一八五九ノ七六九、一八五九ノ七七〇、一八五九ノ七七一、一八五九ノ七七二、一八五九ノ七七三、一八五九ノ七七四、一八五九ノ七七五、一八五九ノ七七六、一八五九ノ七七七、一八五九ノ七七八、一八五九ノ七七九、一八五九ノ七八〇、一八五九ノ七八一、一八五九ノ七八二、一八五九ノ七八三、一八五九ノ七八四、一八五九ノ七八五、一八五九ノ七八六、一八五九ノ七八七、一八五九ノ七八八、一八五九ノ七八九、一八五九ノ七九〇、一八五九ノ七九一、一八五九ノ七九二、一八五九ノ七九三、一八五九ノ七九四、一八五九ノ七九五、一八五九ノ七九六、一八五九ノ七九七、一八五九ノ七九八、一八五九ノ七九九、一八五九ノ八〇〇、一八五九ノ八〇一、一八五九ノ八〇二、一八五九ノ八〇三、一八五九ノ八〇四、一八五九ノ八〇五、一八五九ノ八〇六、一八五九ノ八〇七、一八五九ノ八〇八、一八五九ノ八〇九、一八五九ノ八一〇、一八五九ノ八一一、一八五九ノ八一二、一八五九ノ八一三、一八五九ノ八一四、一八五九ノ八一五、一八五九ノ八一六、一八五九ノ八一七、一八五九ノ八一八、一八五九ノ八一九、一八五九ノ八二〇、一八五九ノ八二一、一八五九ノ八二二、一八五九ノ八二三、一八五九ノ八二四、一八五九ノ八二五、一八五九ノ八二六、一八五九ノ八二七、一八五九ノ八二八、一八五九ノ八二九、一八五九ノ八三〇、一八五九ノ八三一、一八五九ノ八三二、一八五九ノ八三三、一八五九ノ八三四、一八五九ノ八三五、一八五九ノ八三六、一八五九ノ八三七、一八五九ノ八三八、一八五九ノ八三九、一八五九ノ八四〇、一八五九ノ八四一、一八五九ノ八四二、一八五九ノ八四三、一八五九ノ八四四、一八五九ノ八四五、一八五九ノ八四六、一八五九ノ八四七、一八五九ノ八四八、一八五九ノ八四九、一八五九ノ八五〇、一八五九ノ八五一、一八五九ノ八五二、一八五九ノ八五三、一八五九ノ八五四、一八五九ノ八五五、一八五九ノ八五六、一八五九ノ八五七、一八五九ノ八五八、一八五九ノ八五九、一八五九ノ八六〇、一八五九ノ八六一、一八五九ノ八六二、一八五九ノ八六三、一八五九ノ八六四、一八五九ノ八六五、一八五九ノ八六六、一八五九ノ八六七、一八五九ノ八六八、一八五九ノ八六九、一八五九ノ八七〇、一八五九ノ八七一、一八五九ノ八七二、一八五九ノ八七三、一八五九ノ八七四、一八五九ノ八七五、一八五九ノ八七六、一八五九ノ八七七、一八五九ノ八七八、一八五九ノ八七九、一八五九ノ八八〇、一八五九ノ八八一、一八五九ノ八八二、一八五九ノ八八三、一八五九ノ八八四、一八五九ノ八八五、一八五九ノ八八六、一八五九ノ八八七、一八五九ノ八八八、一八五九ノ八八九、一八五九ノ八九〇、一八五九ノ八九一、一八五九ノ八九二、一八五九ノ八九三、一八五九ノ八九四、一八五九ノ八九五、一八五九ノ八九六、一八五九ノ八九七、一八五九ノ八九八、一八五九ノ八九九、一八五九ノ九〇〇、一八五九ノ九〇一、一八五九ノ九〇二、一八五九ノ九〇三、一八五九ノ九〇四、一八五九ノ九〇五、一八五九ノ九〇六、一八五九ノ九〇七、一八五九ノ九〇八、一八五九ノ九〇九、一八五九ノ九一〇、一八五九ノ九一一、一八五九ノ九一二、一八五九ノ九一三、一八五九ノ九一四、一八五九ノ九一五、一八五九ノ九一六、一八五九ノ九一七、一八五九ノ九一八、一八五九ノ九一九、一八五九ノ九二〇、一八五九ノ九二一、一八五九ノ九二二、一八五九ノ九二三、一八五九ノ九二四、一八五九ノ九二五、一八五九ノ九二六、一八五九ノ九二七、一八五九ノ九二八、一八五九ノ九二九、一八五九ノ九三〇、一八五九ノ九三一、一八五九ノ九三二、一八五九ノ九三三、一八五九ノ九三四、一八五九ノ九三五、一八五九ノ九三六、一八五九ノ九三七、一八五九ノ九三八、一八五九ノ九三九、一八五九ノ九四〇、一八五九ノ九四一、一八五九ノ九四二、一八五九ノ九四三、一八五九ノ九四四、一八五九ノ九四五、一八五九ノ九四六、一八五九ノ九四七、一八五九ノ九四八、一八五九ノ九四九、一八五九ノ九五〇、一八五九ノ九五一、一八五九ノ九五二、一八五九ノ九五三、一八五九ノ九五四、一八五九ノ九五五、一八五九ノ九五六、一八五九ノ九五七、一八五九ノ九五八、一八五九ノ九五九、一八五九ノ九六〇、一八五九ノ九六一、一八五九ノ九六二、一八五九ノ九六三、一八五九ノ九六四、一八五九ノ九六五、一八五九ノ九六六、一八五九ノ九六七、一八五九ノ九六八、一八五九ノ九六九、一八五九ノ九七〇、一八五九ノ九七一、一八五九ノ九七二、一八五九ノ九七三、一八五九ノ九七四、一八五九ノ九七五、一八五九ノ九七六、一八五九ノ九七七、一八五九ノ九七八、一八五九ノ九七九、一八五九ノ九八〇、一八五九ノ九八一、一八五九ノ九八二、一八五九ノ九八三、一八五九ノ九八四、一八五九ノ九八五、一八五九ノ九八六、一八五九ノ九八七、一八五九ノ九八八、一八五九ノ九八九、一八五九ノ九九〇、一八五九ノ九九一、一八五九ノ九九二、一八五九ノ九九三、一八五九ノ九九四、一八五九ノ九九五、一八五九ノ九九六、一八五九ノ九九七、一八五九ノ九九八、一八五九ノ九九九、一八五九ノ一〇〇〇、一八五九ノ一〇〇一、一八五九ノ一〇〇二、一八五九ノ一〇〇三、一八五九ノ一〇〇四、一八五九ノ一〇〇五、一八五九ノ一〇〇六、一八五九ノ一〇〇七、一八五九ノ一〇〇八、一八五九ノ一〇〇九、一八五九ノ一〇一〇、一八五九ノ一〇一一、一八五九ノ一〇一二、一八五九ノ一〇一三、一八五九ノ一〇一四、一八五九ノ一〇一五、一八五九ノ一〇一六、一八五九ノ一〇一七、一八五九ノ一〇一八、一八五九ノ一〇一九、一八五九ノ一〇二〇、一八五九ノ一〇二一、一八五九ノ一〇二二、一八五九ノ一〇二三、一八五九ノ一〇二四、一八五九ノ一〇二五、一八五九ノ一〇二六、一八五九ノ一〇二七、一八五九ノ一〇二八、一八五九ノ一〇二九、一八五九ノ一〇三〇、一八五九ノ一〇三一、一八五九ノ一〇三二、一八五九ノ一〇三三、一八五九ノ一〇三四、一八五九ノ一〇三五、一八五九ノ一〇三六、一八五九ノ一〇三七、一八五九ノ一〇三八、一八五九ノ一〇三九、一八五九ノ一〇四〇、一八五九ノ一〇四一、一八五九ノ一〇四二、一八五九ノ一〇四三、一八五九ノ一〇四四、一八五九ノ一〇四五、一八五九ノ一〇四六、一八五九ノ一〇四七、一八五九ノ一〇四八、一八五九ノ一〇四九、一八五九ノ一〇五〇、一八五九ノ一〇五一、一八五九ノ一〇五二、一八五九ノ一〇五三、一八五九ノ一〇五四、一八五九ノ一〇五五、一八五九ノ一〇五六、一八五九ノ一〇五七、一八五九ノ一〇五八、一八五九ノ一〇五九、一八五九ノ一〇六〇、一八五九ノ一〇六一、一八五九ノ一〇六二、一八五九ノ一〇六三、一八五九ノ一〇六四、一八五九ノ一〇六五、一八五九ノ一〇六六、一八五九ノ一〇六七、一八五九ノ一〇六八、一八五九ノ一〇六九、一八五九ノ一〇七〇、一八五九ノ一〇七一、一八五九ノ一〇七二、一八五九ノ一〇七三、一八五九ノ一〇七四、一八五九ノ一〇七五、一八五九ノ一〇七六、一八五九ノ一〇七七、一八五九ノ一〇七八、一八五九ノ一〇七九、一八五九ノ一〇八〇、一八五九ノ一〇八一、一八五九ノ一〇八二、一八五九ノ一〇八三、一八五九ノ一〇八四、一八五九ノ一〇八五、一八五九ノ一〇八六、一八五九ノ一〇八七、一八五九ノ一〇八八、一八五九ノ一〇八九、一八五九ノ一〇九〇、一八五九ノ一〇九一、一八五九ノ一〇九二、一八五九ノ一〇九三、一八五九ノ一〇九四、一八五九ノ一〇九五、一八五九ノ一〇九六、一八五九ノ一〇九七、一八五九ノ一〇九八、一八五九ノ一〇九九、一八五九ノ一一〇〇、一八五九ノ一一〇一、一八五九ノ一一〇二、一八五九ノ一一〇三、一八五九ノ一一〇四、一八五九ノ一一〇五、一八五九ノ一一〇六、一八五九ノ一一〇七、一八五九ノ一一〇八、一八五九ノ一一〇九、一八五九ノ一一一〇、一八五九ノ一一一一、一八五九ノ一一一二、一八五九ノ一一一三、一八五九ノ一一一四、一八五九ノ一一一五、一八五九ノ一一一六、一八五九ノ一一一七、一八五九ノ一一一八、一八五九ノ一一一九、一八五九ノ一一二〇、一八五九ノ一一二一、一八五九ノ一一二二、一八五九ノ一一二三、一八五九ノ一一二四、一八五九ノ一一二五、一八五九ノ一一二六、一八五九ノ一一二七、一八五九ノ一一二八、一八五九ノ一一二九、一八五九ノ一一三〇、一八五九ノ一一三一、一八五九ノ一一三二、一八五九ノ一一三三、一八五九ノ一一三四、一八五九ノ一一三五、一八五九ノ一一三六、一八五九ノ一一三七、一八五九ノ一一三八、一八五九ノ一一三九、一八五九ノ一一四〇、一八五九ノ一一四一、一八五九ノ一一四二、一八五九ノ一一四三、一八五九ノ一一四四、一八五九ノ一一四五、一八五九ノ一一四六、一八五九ノ一一四七、一八五九ノ一一四八、一八五九ノ一一四九、一八五九ノ一一五〇、一八五九ノ一一五一、一八五九ノ一一五二、一八五九ノ一一五三、一八五九ノ一一五四、一八五九ノ一一五五、一八五九ノ一一五六、一八五九ノ一一五七、一八五九ノ一一五八、一八五九ノ一一五九、一八五九ノ一一六〇、一八五九ノ一一六一、一八五九ノ一一六二、一八五九ノ一一六三、一八五九ノ一一六四、一八五九ノ一一六五、一八五九ノ一一六六、一八五九ノ一一六七、一八五九ノ一一六八、一八五九ノ一一六九、一八五九ノ一一七〇、一八五九ノ一一七一、一八五九ノ一一七二、一八五九ノ一一七三、一八五九ノ一一七四、一八五九ノ一一七五、一八五九ノ一一七六、一八五九ノ一一七七、一八五九ノ一一七八、一八五九ノ一一七九、一八五九ノ一一八〇、一八五九ノ一一八一、一八五九ノ一一八二、一八五九ノ一一八三、一八五九ノ一一八四、一八五九ノ一一八五、一八五九ノ一一八六、一八五九ノ一一八七、一八五九ノ一一八八、一八五九ノ一一八九、一八五九ノ一一九〇、一八五九ノ一一九一、一八五九ノ一一九二、一八五九ノ一一九三、一八五九ノ一一九四、一八五九ノ一一九五、一八五九ノ一一九六、一八五九ノ一一九七、一八五九ノ一一九八、一八五九ノ一一九九、一八五九ノ一二〇〇、一八五九ノ一二〇一、一八五九ノ一二〇二、一八五九ノ一二〇三、一八五九ノ一二〇四、一八五九ノ一二〇五、一八五九ノ一二〇六、一八五九ノ一二〇七、一八五九ノ一二〇八、一八五九ノ一二〇九、一八五九ノ一二一〇、一八五九ノ一二一一、一八五九ノ一二一二、一八五九ノ一二一三、一八五九ノ一二一四、一八五九ノ一二一五、一八五九ノ一二一六、一八五九ノ一二一七、一八五九ノ一二一八、一八五九ノ一二一九、一八五九ノ一二二〇、一八五九ノ一二二一、一八五九ノ一二二二、一八五九ノ一二二三、一八五九ノ一二二四、一八五九ノ一二二五、一八五九ノ一二二六、一八五九ノ一二二七、一八五九ノ一二二八、一八五九ノ一二二九、一八五九ノ一二三〇、一八五九ノ一二三一、一八五九ノ一二三二、一八五九ノ一二三三、一八五九ノ一二三四、一八五九ノ一二三五、一八五九ノ一二三六、一八五九ノ一二三七、一八五九ノ一二三八、一八五九ノ一二三九、一八五九ノ一二四〇、一八五九ノ一二四一、一八五九ノ一二四二、一八五九ノ一二四三、一八五九ノ一二四四、一八五九ノ一二四五、一八五九ノ一二四六、一八五九ノ一二四七、一八五九ノ一二四八、一八五九ノ一二四九、一八五九ノ一二五〇、一八五九ノ一二五一、一八五九ノ一二五二、一八五九ノ一二五三、一八五九ノ一二五四、一八五九ノ一二五五、一八五九ノ一二五六、一八五九ノ一二五七、一八五九ノ一二五八、一八五九ノ一二五九、一八五九ノ一二六〇、一八五九ノ一二六一、一八五九ノ一二六二、一八五九ノ一二六三、一八五九ノ一二六四、一八五九ノ一二六五、一八五九ノ一二六六、一八五九ノ一二六七、一八五九ノ一二六八、一八五九ノ一二六九、一八五九ノ一二七〇、一八五九ノ一二七一、一八五九ノ一二七二、一八五九ノ一二七三、一八五九ノ一二七四、一八五九ノ一二七五、一八五九ノ一二七六、一八五九ノ一二七七、一八五九ノ一二七八、一八五九ノ一二七九、一八五九ノ一二八〇、一八五九ノ一二八一、一八五九ノ一二八二、一八五九ノ一二八三、一八五九ノ一二八四、一八五九ノ一二八五、一八五九ノ一二八六、一八五九ノ一二八七、一八五九ノ一二八八、一八五九ノ一二八九、一八五九ノ一二九〇、一八五九ノ一二九一、一八五九ノ一二九二、一八五九ノ一二九三、一八五九ノ一二九四、一八五九ノ一二九五、一八五九ノ一二九六、一八五九ノ一二九七、一八五九ノ一二九八、一八五九ノ一二九九、一八五九ノ一三〇〇、一八五九ノ一三〇一、一八五九ノ一三〇二、一八五九ノ一三〇三、一八五九ノ一三〇四、一八五九ノ一三〇五、一八五九ノ一三〇六、一八五九ノ一三〇七、一八五九ノ一三〇八、一八五九ノ一三〇九、一八五九ノ一三一〇、一八五九ノ一三一一、一八五九ノ一三一二、一八五九ノ一三一三、一八五九ノ一三一四、一八五九ノ一三一五、一八五九ノ一三一六、一八五九ノ一三一七、一八五九ノ一三一八、一八五九ノ一三一九、一八五九ノ一三二〇、一八五九ノ一三二一、一八五九ノ一三二二、一八五九ノ一三二三、一八五九ノ一三二四、一八五九ノ一三二五、一八五九ノ一三二六、一八五九ノ一三二七、一八五九ノ一三二八、一八五九ノ一三二九、一八五九ノ一三三〇、一八五九ノ一三三一、一八五九ノ一三三二、一八五九ノ一三三三、一八五九ノ一三三四、一八五九ノ一三三五、一八五九ノ一三三六、

代表社員ノ氏名 加藤鎌次郎
社員ノ氏名住所出資ノ種類及責任
無限 加藤鎌次郎 名古屋市西區
金五千圓 下中村町字南郷中百五十三番地
下國吉二丁目十五番地 加藤交太郎 名古屋市西區
金一千圓 有限 野毛大三 名古屋市西區江川町一丁目二番地

◉合資會社平澤商店變更
本店ヲ昭和十年十二月四日 名古屋市東區內山町二丁目四番地ト變更ス
社員平澤清ノ住所ヲ 同日名古屋市東區內山町二丁目四番地ト變更ス

◉合資會社設立
商號 合資會社東洋生卵加工社
本店 名古屋市東區千種町字西裏百三十番地
目的 一生卵加工(生卵味付)販賣及生卵加工機製作販賣其他レツテル、ポスター、チラシ、セロファン袋附屬品ノ販賣 一右ニ附帶スル一切ノ業
設立ノ年月日 昭和十年十二月五日
代表社員ノ氏名 田邊喜市
社員ノ氏名住所出資ノ種類及責任
勞務 名古屋市東區千種町
勞務 西裏百三十番地
無限 田邊喜市
金一千圓 有限 山口澄子 同所同番地
非通七丁目十二番地 加藤哲朗 名古屋市西區菊
金五百圓 大字擧母字櫻町七十九番地 西加茂郡擧母町
存立時期 滿十箇年
以上昭和十年十二月六日登記 名古屋區裁判所

◉株式會社三輪製絲所變更
取締役三輪賢三ハ昭和十年十一月二十八日重任ス
監査役大野幾右エ門廣瀬殖穀ハ同日重任ス
昭和十年十二月九日登記 名古屋區裁判所小牧出張所

◉株式會社愛知縣農工銀行社債變更(支店)
一昭和六年十二月四日變更登記シタル社債總額金十萬圓ノ內一部償還シ昭和十年十一月三十日社債總額ヲ金六萬圓ト
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金百圓ノ內一部償還シ同日社債總額ヲ金千百圓ト
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二千五百圓ノ內一部償還シ同日社債總額ヲ金

一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金百四万圓ノ內一部償還シ同日社債總額ヲ金九十六万圓ト
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金四千二百圓ノ內一部償還シ同日社債總額ヲ金四千圓ト
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金十二万圓ノ內一部償還シ同日社債總額ヲ金十一万圓ト
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金四百圓ノ內一部償還シ同日社債總額ヲ金百圓ト
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金九万五千二百圓ノ內一部償還シ同日社債總額ヲ金九万二千四百圓ト
一昭和五年七月十六日登記シタル社債總額金十三万九千三百圓ノ內一部償還シ同日社債總額ヲ金十三万二千三百圓ト
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金十六万二千二百圓ノ內一部償還シ同日社債總額ヲ金十六万二千二百圓ト
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金十二万五千五百圓ノ內一部償還シ同日社債總額ヲ金十二万五千五百圓ト
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金十万八千六百圓ノ內一部償還シ同日社債總額ヲ金十万八千六百圓ト
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金十万一千七百圓ノ內一部償還シ同日社債總額ヲ金十万一千七百圓ト
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金十万一千百圓ノ內一部償還シ同日社債總額ヲ金十万一千

一昭和十年六月十日 變更登記シタル社債總額金二十万一千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金十六万四千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金一万八千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金一万八千七百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金六万五千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金六万二千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金六万六千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金六万五千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金三万圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金五万三千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金三万七千百圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金三万六千四百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金三万六百圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金三万五千百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二万八千四百圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金二万八千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金三千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金五万四千七百五十圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金三十二万五千二百圓ノ内一部償還シ同日社債總額金三十一万一千二百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金十五万一千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金十四万一千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額ヲ八万七千三百圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金八万七千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金七千五百圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金七千三百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二万九百圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金一万百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金八千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金九千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二万百圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金一万百圓トス
一昭和八年七月二十七日登記シタル社債總額金一万二千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金九千五百圓トス
一昭和十年五月十日變更登記シタル社債總額金二十八万四千九百五十圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金二万七千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二万五千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金一万六千五百圓トス
一昭和八年八月七日登記シタル社債總額金一万二千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金九千五百圓トス
一昭和八年八月七日登記シタル社債總額金三万五千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金二万六千五百圓トス
一昭和八年八月七日登記シタル社債總額金一万千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金九千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金四百五十圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金四百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金八万九千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金七万九千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金五万五千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金五万四千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金十六万六千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金十五万六千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金九万七千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金九万六千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金五万七千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金五万六千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二万千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金一万六千圓トス
一昭和八年八月七日登記シタル社債總額金一万二千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金九千圓トス
一昭和八年八月七日登記シタル社債總額金三万五千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金二万六千圓トス
一昭和八年八月七日登記シタル社債總額金一万千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金九千圓トス
一昭和八年八月七日登記シタル社債總額金一万二千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金九千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二十八万四千九百五十圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金二万七千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二万六千五百圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金一万六千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金一万千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金九千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金一万二千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金九千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二万七千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金二万六千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金一万千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金九千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金一万千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金九千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二万千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金一万六千圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二万七千五百圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金二万六千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二十八万四千九百五十圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金二万七千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二万五千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金二万四千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二万六千五百圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金二万五千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二万千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金一万九千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金一万千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金九千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金一万千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金九千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金一万千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金九千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二万千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金一万六千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二万七千五百圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金二万六千五百圓トス
一昭和十年六月十日變更登記シタル社債總額金二万千圓ノ内一部償還シ同日社債總額ヲ金九

三、利害關係債權債務者集會ノ期日　昭和十一年二月十日迄
和議債權者集會期日ハ昭和十一年二月二十五日午後一時

昭和十一年一月十四日　東京區裁判所
判事　安倍恕

平塚市須賀千二百五番地　債務者　遠藤　醇

右ノ者ニ對スル昭和十年(フ)第一號和議事件ニ付當裁判所ハ本日午後一時和議手續開始決定ヲ爲シタルニ因リ公告スルコト左ノ如シ

一、債務者遠藤醇ニ對シ和議手續ヲ開始ス
二、管財人　横濱市中區南仲通二丁目二十四番地
辯護士　須々木平次
三、債權届出期間　昭和十一年二月八日迄
四、債權者集會ノ期日　昭和十一年二月十八日午後一時
昭和十一年一月二十日　横濱區裁判所

◎行旅死亡人

本籍住所職業氏名不詳自稱住所北海道野付郡別海村小笠原富吉方温灸治療師　仲昭一八十六歳性別男人相身長五尺位頭髮濃ク白毛五分刈眉毛薄ク目鼻並齒奥齒四枚ヲ殘シ全クナシ遺留品及著衣莫大小襪衣上下白絣單衣錦仙袷同袖入ネンネコ黑木綿足袋セルコート襯衣半長紬羅紗頭巾メリンス兵兒帶灸治療道具小型バスケット小鰕蟇口一現金一四七十二錢

右本月四日午前一時當市大樂毛五十番地吉田利藏方ニテ狹心症發作ニ因ル心臟麻痺ニテ死亡屍體同六日釧路警察署長ヨリ引渡シ依リ當市共同墓地ニ假埋葬爲シ置キタリ心當リノ者ハ速ニ當所ニ申出ツヘシ

昭和十年十二月　釧路市役所

住所居所氏名不詳男二十五年位丈五尺位辯形角顏頭髮長ク病身ノ如ク一見店員風著衣茶御綿十文ノ足袋ヲ著ス所持遺留品中折帽子一箇住所居所氏名不詳女二十四年位丈五尺位肥滿シ顏圓ク毛髮短キ方著衣人絹混織模樣ノ袷松葉模樣ノ羽織日輪模樣ノ名古屋帶ヲ締メ白足袋九文七分ヲ穿ツ十銭金色腕時計一箇ヲ遺留

以上昨十年十二月二十四日當村黑崎海岸ニ於テ發見假土葬ス心當リノ者ハ申出ツヘシ

昭和十一年一月十日　大阪府泉南郡淡輪村役場

◎日本銀行週報

◎兌換銀行券發行高每週平均高報告自昭和十一年一月十二日至昭和十一年一月十八日)

	円
發行兌換銀行券	一三四五六四〇二九九〇〇〇
準備	五〇五三七三六七〇〇〇
金貨及金地金	四二八八二五五八〇〇〇
公債	一一一八八一一〇八〇〇〇
保證	一一四三四七一二八〇〇〇
政府證券	八五七四五四八八〇〇〇
手形	八四〇六六四五三一〇〇〇
合計	

◎營業每週報告(昭和十一年一月十八日)

	円
負債ノ部	
資本金	六〇〇〇〇〇〇〇〇〇
積立金及損益金	一四〇二一〇四一三二七一一
發行兌換銀行券	一三五三〇七九四四四〇〇〇
政府當座預金	一六三三七四二八五七五〇
其他	一七七一六九七一三八五
計	三四〇五四三七五七一三五
	五八〇六四九八八五〇
一般預金	一一〇四〇〇〇〇〇〇〇
小額紙幣準備寄託金	一〇〇九二八三四九六六七
總計	一〇〇六三八六〇六七二三六四
資産ノ部	
拂込未濟資本金	一五〇〇〇〇〇〇〇〇〇
現金及地金	
金貨及金地金	五〇五五七五九四三一五〇
其他	二八七九四五三六〇六二五
計	五三四〇三〇四七九七七五
	五四九五一四五七五六〇〇
割引手形	二一〇〇〇〇〇〇〇〇〇
政府法定貸付金	九八一一二八一四三三〇〇
政府一時貸付金	三四三三二三三六〇〇〇
外國爲替貸付金	一〇一三三二九一三四四〇
公債	五〇六〇一一二七九三六六
代理店勘定	一五六四一三七四九三六六
政府勘定特殊現金	一二七五八九三九一一九
小額紙幣準備保管金	一一〇四五九九四五四四
其他	二一九八二五八四九五四
總計	一〇六三八六〇六七二三六四

◎荷受人及荷送人不明荷物

左記荷物心當リノ向ハ當省ニ申出ツ(シ本公告備考　荷物表示上ノ數字ハ提案番號　其下ノ數字等ハ納著又ハ發見ノ月日驛名等　ハ納著　×ハ到著年月日事情等不明)後發見ノ後六月以内ニ其權利者ノ申出ナキ時ハ鐵道省其所有權ヲ取得ス

昭和十一年一月　鐵道省
日本銀行

◎加拿陀米國南米等行
◎南支那香港、フィリピン群島、海峡殖民地、英領印度等行
◎米國加拿陀南米等行
◎蘭領東印度行
◎濠洲、新西蘭等行
◎支那、蒙古、滿洲、朝鮮、關東州、樺太、台湾、内地

月日	時	月日	時	船名
一、二五後九	一〇	一、二五前一〇、一五		横濱 平安丸
同二五後二、一〇	同二五後一、二〇	同二五前一〇、一五	同	プレシデント、ソフアソン
同二五後九		同二五前八半	一、二五後四	同 ゼフアソン號
同二五後九半		同二五後九		同
同二五後九半	同二五後九			同
同二五後九	同二五前八半			同
同二五後九	同二五前八半			同 門司 鹿島丸
同二五後九	同二五前八半			同 へいぐ
同二五後九	同二五後九			同 岩手山丸
同二五後九	同二五後四			同
一、二五後九半	一、二五後九			横濱 めるぼるん丸
同二五後九半	同二五前一〇、一五			神戸 チェリボン丸
同二五後九半	同二五前一〇、一五			横濱 北陸丸

(備考)　岩手山丸ノ小包ハ神戸局送トス

都×　二六七紙箱革紙等同折尾×　二六八筵包鑑
同二一名古屋※　二六九紙包木板同二四同上
二七〇同牽衣同六野里×　二七一風呂敷包乾嚴
二七二同酒粕同三長野×
二七三行李紙等同　二七四同丹前等
同一八二條※　二七五洋傘同二二名古屋※　二
七六同傘同二一　二七七亞鉛板同一二同
上　二七八ラシヤ上衣同　二七九箱
入餅同三〇平井×　二八〇筵包ストーブ同三一
東京×　二八一樽入料理同二六地多×　二八二
同上　二八三梓檜醤油同二五函館×　二八四麻
袋金具同二九東京×　二八五紙包鑑節一二、六
同上

尚ホ詳細ハ最寄鐵道省停車場ニ就キ荷物事故彙報ヲ閲覧セラルヘシ

◎外國郵便物東京中央郵便局締切日時表

普通書留	月日	時	月日	時	小包	郵便船出船名
一、二五後等一〇	一、二五前一〇、一五					横濱 平安丸
同二五後二、一〇	同二五後一、二〇	同二五前一〇、一五			同	プレシデント、ゼフアソン號
同二五後九		同二五前八半			一、二五後四	同
同二五後九半		同二五後九				同
同二五後九半	同二五後九					同
同二五後九	同二五前八半					同
同二五後九	同二五前八半					同 門司 鹿島丸
同二五後九	同二五前八半					同 へいぐ
同二五後九	同二五後九					同 岩手山丸
同二五後九	同二五後四					同
一、二五後九半	一、二五後九					横濱 めるぼるん丸
同二五後九半	同二五前一〇、一五					神戸 チェリボン丸
同二五後九半	同二五前一〇、一五					横濱 北陸丸

廣告

本月十六日本會第十六回定期總會の際本會表彰規程に依り全國町村長中二十箇年以上在職し功績顯著なる左記諸氏を表彰したり

昭和十一年一月十七日　東京市四谷區三光町八番地

全國町村長會

埼玉縣
秩父郡中川村長　笠原松三郎君
同　一郡櫛川村長　高田群次郎君
群馬縣
多野郡多胡村長　大澤良太郎君
栃木縣
芳賀郡大内村長　渡邊正三郎君
岐阜縣
可兒郡御嵩村長　河村莊太郎君
宮城縣
黒川郡有賀村長　千葉恒平君
岩手縣
上閉伊郡遠野町長　中村哲四郎君
山形縣
北村山郡櫛岡村長　佐藤直信君
秋田縣
生駒郡田原村長　下村虎三君
長崎縣
多良郡彼杵村長　梅田茂右衛門君
新潟縣
古志郡山本村長　鈴木義延君
三島郡島野村長　小林利三郎君
中蒲原郡石川村長　小澤榮一君
中頸城郡米山村長　山田利喜造君
福井縣
坂井郡坂北村長　小野喜久三君
今立郡中河村長　伯治門君
同　郡國高村長　小泉六右衛門君
石川縣
石川郡旭村長　前田豊吉君
珠洲郡寶立村長　谷内星七君
富山縣
下新川郡袋山村長　西田繁松君
婦負郡五百石村長
岡山縣
上房郡中井村長　室壯次郎君
同　郡西川村長　池上勢平君
廣島縣
豊田郡豊崎村長　福岡松太郎君
同　郡西野村長　久保惇君
同　郡河内村長　陶山謙一君
賀茂郡小田村外四ヶ村組合長　池田忠太郎君
山口縣
豊浦郡府内村長　原田政佳君
香川縣
小豆郡土庄町長　笠井昌平君
木田郡牟礼村長　井上泰三君
愛媛縣
宇和郡三間村長　龜岡哲夫君
福岡縣
三潴郡大川町長　添田雷四郎君
八女郡長峰村長　中島竹生君
大分縣
南海部郡米水津村長　瀧川太喜治君
直入郡松木村長　佐田重作君
熊本縣
鹿本郡植木村長　中村友記君
鹿兒島縣
揖宿郡山川町長　日高萬里彦君
北海道
廣尾郡大樹村長　中村佐久彌君
阿寒郡音寒村長　服部增太郎君
樺太
南樺太郡真岡村長　川崎甲子男
關東州
大連市役所　高梨慶三郎君
朝鮮
大邱府役所　菅田英久君
台湾
台北市役所　藤山愛一郎君
内地
東京市役所　川崎大次郎君
大阪市役所　齊藤眞平君
名古屋市役所　川崎利兵衛君
福岡市役所　近藤榮君
仙臺市役所　鹿兒島市役所　信濃國役所　高松市役所　長崎市役所　神戸市役所　廣島市役所　金澤市役所　横濱市役所　神戸市役所　大手町役所　銀町役所　四丁目役所　南新町役所　五丁目役所　坂上町役所　二丁目役所　山下町役所　一丁目役所　七番役所　千葉市役所　登戸役所　京都市役所　下京區四條通り柳馬場役所　札幌市役所　北一條西三丁目役所

取締役社長　川崎甲子男
專務取締役　高梨慶三郎
取締役　菅田英久
取締役　藤山愛一郎
取締役　川崎大次郎
取締役　齊藤眞平
監査役　川崎榮
監査役　近藤利兵衛
監査役　川崎八右衛門
相談役　東京市京橋區銀座西五丁目二番地

可愛いお子達の爲に

一我社の保險に御加入になりますと僅な保險料が積り積つて多額の保險金となり知らず識らずの裡にお子達の出世の費金が樂々と出來上り一家繁榮の基となります
一我社の保險は總て無診査ですから御加入の手續は至極簡單に出來ます
一我社の保險は左の二種類で孰れも加入者本位に最も多くの利益配當を致しますから貯金に優る貯蓄であります

徴兵保險　後顧の憂なく兵役の義務を果す樣に入營の際の保險金となり知らず識らずの裡にお子達
愛育保險　お子さんの結婚費金、教育費金、營業資金等を貯蓄し得られる樣に仕組んであります

我社は穩健著實を以て營業の方針とし契約者の利益本位を唯一の主義として居ります
我社は日本火災保險會社及日華生命保險會社と姉妹會社であります

(營業案内は御請求次第差上げます)

株式會社日華徴兵保險會社

名譽顧問
陸軍中將　山田良之助閣下
陸軍中將　井上一次閣下
陸軍中將　木村戒自閣下

◎代理店員招聘　御希望の方は本社又は最寄支部へ御申込を乞ふ

株式名義書換停止公告

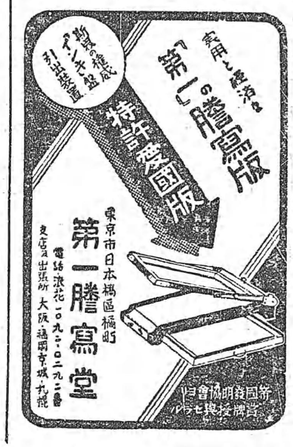
株券無效公告
左記當社株券亡失ノ旨名義人ヨリ屆出アリタルニ付昭和拾壹年參月貳拾貳日迄ニ異議ノ申立ナキトキハ之ヲ無效トス

種別	記號	番號
壹拾株券	參	第壹五九六七號
壹拾株券	陸	第壹五九六八號
壹拾株券	陸	第壹五九六九號

名義人　柴藤初次郎
柴藤宗雄
昭和拾壹年壹月貳拾貳日

當行定款第二十條ニ據リ來ル二月三日ヨリ三月株主總會結了迄株式ノ名義書換ヲ停止候也
昭和十一年一月　株式會社臺灣銀行

第2714号

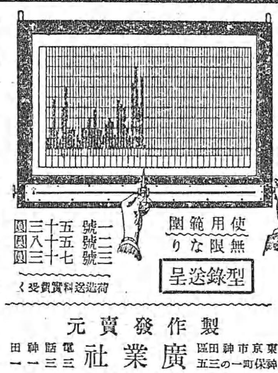


專賣特許 統計表示器 リボン式

專賣特許第七六五五七號 實用新案第一九〇七〇五號 實用新案第一七四一六〇號 實用新案第一〇八一六二號

能率增進文化の利器

一の盤面であらゆる統計を瞬間に明確表示す
記錄複寫の作製も簡單
如斯幼稚なる算記時代は既に去れり



價にボタンを押し把手を廻すのみにて色彩が自由自在に現出す

荷造送料實費受

一二三號號號 五五七十十 三八三圓圓圓

製作發賣元 東京市神田區錦町五三の一 電話神田三一一三 廣業社

凡ての統計表示に舊來の如き煩雜なる手數を不要瞬間に其使命を果し永久の使用に堪へ使用又極めて簡單御使用者より讃辭多大官公衙學校銀行會社商店殊に工場等は部分品在高を常に明確に表示等本器御利用收益增加のため今直に選錄請求御研究急務ならずや現に使用中の各位は日日收益增大廣島遞信局は百五十五套御採用

明治二十五年三月三十一日第三種郵便物認可

東京市九段下電停前 アキバ徽章商會 カタログ進呈

株式名義書換停止公告
昭和十一年二月一日ヨリ通常株主總會終了ノ日迄株式ノ名義書換ヲ停止ス
昭和十一年一月二十一日
臺灣電力株式會社

日本テント商會
大阪南安治川三丁目(元ノ原)
商話西六九二番

各種レール 鐵道諸材料
東京市日本橋區江戸橋三丁目五番地
合資會社 五十嵐商店
電話日本橋(24)長〇二五八番 〇二五九番 〇二六〇番
出張所
大阪市港區四條通一丁目四番地 電話西長四四七番
八幡市中央區中本町三丁目 電話長六四番 一七五六番
札幌市北四條西二丁目一 電話長四九五番

フォーガルシューム
(片瀬博士遺說明書冊子發賣元へ御申越次第呈上)
檜林醫學博士推奬
片瀬醫學博士鑑査
姙産婦を保護し、胎兒の發育を助け
母乳を豐富ならしめ、且乳質を改善せしむる等、諸多の好果を擧ぐ
發賣元 大阪道修町 和田卯助商店
關東代理店 東京本町 株式會社田邊元三郎商店

定價 一ケ月 九十五錢 一四八十錢(外國郵便ニ五錢 八錢 依ル地域)各送料共
廣告料 本公告 八ポイント一行 三十錢 九ポイント五錢增
一般廣告 八ポイント一行十四字詰 二十五錢

發行所 東京市麹町區大手町 内閣印刷局
電話(九)(内)三五(内)(官報)
振替東京 九〇〇〇

(本書ノ大サハ國定規格A4判)

特 27114 号

昭和九年貿易外收支表說明

大藏省理財局

一、昭和九年本邦貿易外收支は別表の通りであるが、經濟的收支は受取超過一億九千二百十八万圓、臨時的收支は支拂超過一億八千三百四十四万圓差引受取超過八百七十四万圓であつて、之を前年に對比すれば經常的收支に於て受取超過額八千二百三十八万圓の增加を見たが、臨時的收支に於ては支拂超過額一億六千二百四十六万圓の增加を見たので差引受取超過額は八千七万圓の減少を見た譯である。

右に依つて昭和九年の國際貸借狀況を見れば銀貿易を含む貿易入超額は一億二千九百二十七万圓であるから、前記貿易外收支受取超過額八百七十四万圓を差引き一億二千五十三万圓の支拂超過になつた譯であつて之を前年の千九十三万圓の受取超過（貿易入超額七千七百八十八万圓、貿易外受取超過八千八百八十二万圓）に比較すれば一億三千百四十六万圓の支拂の增加となる譯である。

二、昭和九年貿易外經常的收入は總額七億八千八百二十三万圓であつて前年に比し九千五百二十七万圓の增加を示して居るのであるが、之は主として本邦貿易の進展の影響を受け海運及保險關係收入に於て四千六十五万圓の增加を見たるに加へ、本邦海外事業及勞務利益に於て千九百五十三万圓、來遊外人消費額に於て千九百七十七万圓の增加を見た爲である。

三、經常的支拂は總額五億九千六百四万圓であつて前年に比し千二百八十九万圓の增加を示して居るのであるが、之は本邦諸勞の利拂額に於て千六百二十八万圓の減少を見たるに拘らず、政府の支拂金に於て千三百六十八万圓、海運及保險關係に於て七百三十六万圓、漁場借區料其他に於て千六十三万圓の增加を見た爲である。

四、臨時的收入は總額三億一千二百万圓であつて前年に比すれば千八百十六万圓の增加を示して居るのであるが其の主因は本邦外貨公社債の賣渡に於て六千八百七十五万圓、海外預ヶ金、貸付金回收に於て四千二百六十四万圓、海外事業投資回收に於て二千九百二十六万圓の減少を見たるも他方外國國債賣渡に於て一億二千八百六十五万圓、本邦株式賣渡に於て三千二百四十五万圓の增加があつた爲である。

五、臨時的支拂は總額四億九千五百四十四万圓であつて前年に比すれば一億八千六十二万圓の增加を示して居るのであるが、是は主として外國國債の償入二千六百三十五万圓の減少を見たるも、滿洲其他に對する海外事業投資に於て一億二千四百四十九万圓、海外預け金、貸付金に於て四千七百十九万圓、外國地方債、社債の購入に於て三千八百二十二万圓の增加を見た爲である。（別表の通り）（單位は千圓）

昭和九年貿易外收支表

項目	昭和九年	前年分	比較增（△減）
第一 經常的收入	七八八、三二〇	七九二、九五二	九五、三六八
(一)外國貿易利子及配當等	三三、五一七	三三、六〇六	△一、二八九
一、外國國債利子	二二、四四一	二二、九八二	△七四一
二、外國地方債社債利子	五二、三三三	四二、一八四	一〇、一四九
三、外國株式配當及預金利子等	六〇、三三	七六、四四〇	△一六、一〇七
(二)海外事業及勞務利益	一八、九六、一二二	一六、七一、三二八	一九、三五三
四、事業純益	八、三、三〇一	六、八、七一三	一、三、五二八
五、出稼人等仕送及持歸金	一〇三、六一二	九、八、六〇三	六、〇〇九
(三)海運關係收入	三五一、五二〇	三二一、八一〇	一九、七一〇
六、輸入貨物運賃	八、八、七一九	八、一、六〇三	七、〇一四
七、輸出貨物運賃	七〇、九一三	五五、九三二	一〇、九八一
八、物運賃	五五、一三一	五一、八一四	三、三一七
九、外國旅客運賃	一七〇、五九	一五、四四三	一、六一四
一〇、傭船料	三〇四	四二八	△一二四
一一、船舶會社雜收入	三一、五九	七〇、九九	△四、九二〇
一二、外國艦船需品購入代	一一、九六七	一〇、〇〇六	一、九六一
一三、外國艦船修繕代	一、五七四	一、四四六	△一二二
一四、噸稅及水先案內料等	四、六三四	三、六八三	一、〇〇六
(四)保險關係收入	一三八、五一八	一一七、七一一	二〇、九四七
一五、本邦海上保險會社收入	五一、四一二	四一、八七三	九、六三九
一六、本邦火災保險會社收入	六〇、七五九	五〇、九三五	六、八二四
一七、外國保險會社より收入	二六、二四七	二一、一六三	四、一八四
(五)外國人本邦內消費	八九、三三一	九九、四五八	△一、七一四
一八、來遊外人消費	六四、五六八	四六、三〇一	一八、二六七
一九、外國艦船乘組員消費	四、六〇七	四、六〇七	〇〇円
二〇、外國人留學生消費	一、〇〇〇	一、〇〇〇	〇〇円

電氣事業の展望

遞信省電氣局

一

近時朝野の間に產業振興に關する論議が行はれ、其の必要が强調されてゐることは注目に値する事柄と謂はねばならぬ。產業の振興は民力充實の基調であり國運伸展の要素であつて、現下の內外の情勢に鑑みるとき何人と雖も其の必要を痛感せざるを得ないのである。然らば如何なる具體方策を以て此の要請に應ふべきであるかと謂へば、或は常該產業の機構の方面に於て又は經營の分野等に於て各種各樣の對策手段が考究調査せられなければならぬことは固よりであらうが、少くとも根本の問題としては凡ゆる產業活動の樞軸たる動力問題の解決を以て最先の要目としなければならぬことは自明の理であらう。

低廉にして豐富なる動力の供給を確保することは、此の意味に於て產業振興の基本條件を爲すものである。繰つて我國動力資源の現狀を瞥るに、石炭、石油等に惠まれることの薄きは周知の通である。此の間に在つて纔に比較的豐富なるを得てゐるものは水力である。水力こそは正に無盡の國寶であり、電氣に化成せられ最も貴重なる動力資源を爲すものである。之我國の電氣事業が水力發電を基調とする所以であり、動力問題の解決如何、從つて又產業振興の成否如何が電氣事業の雙肩にかゝるものと爲す理由である。

二

電氣事業の最近に於ける好調を數年前の所謂斯業の受難時代に對比すると眞に隔世の感があり、業界は正に一陽來復の喜びを迎へつゝあるものと謂へる。而して對外貿易の伸張及金融の緩慢が我產業界に好刺戟を與へて、電氣の需用を頓に增進せしめたると、一昨年來の低金利傾向が漸く電氣事業にも其の惠澤を分ち、之等が相倚り相俟つて收入の增加と支出の輕減を齎し、業界の今日の好調を具現せしめたことは疑ひないが、同時に又、久しく一般經濟界の不況の重壓下に在つて、良く經營の合理化に力を傾けたる電氣事業者の拮据が、偶々時運に惠まれて其の效を顯はし來たつたことも、業績好轉の要因として見逃すことの出來ぬ事實である。

然し乍ら、一般產業界が活潑となるに連れて發生する新規企業資金の需要等を豫想するときは、今日の低金利傾向を以て永續性ありと樂觀することは妥當ならざるべく、又對外貿易の伸張と雖も列國各々自らの經濟復興に專念せざるを得ない樣、勢ひ自國本位的となりて、輸入の制限、禁止或は關稅の引上げ等世界各國何れも極端なる輸入防遏策を講じつゝある現狀に鑑みるときは、必ずしも樂觀を許さざるものが在る。

付録

三一 外國公債利子	一、〇〇〇	一、〇〇〇	同
三二 雜收入	一、〇〇〇	一、〇〇〇	同
(六) 過年度歲入の繰入	一、〇〇〇	一、〇〇〇	△ 一、〇〇〇
三三 政府清算收入	一、〇〇〇	一、〇〇〇	△ 一、〇〇〇
(七) 其他	五、〇〇〇	一、〇〇〇	△ 一、〇〇〇
三四 賣買價格調整收入	0	0	同
三五 同物品賣拂代	0	0	同
三六 雜	五、〇〇〇	一、〇〇〇	△ 四、〇〇〇
第二 臨時的收入	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	△ 一、〇〇〇、〇〇〇
(一) 資本の本邦人海外放	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇	△ 一、〇〇〇、〇〇〇
三七 資本邦人海外放	0	0	同
三八 同地方債償還	0	0	同
三九 同社債償還	0	0	同
三〇 公債金等行政費	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
三一 同國債償還費	0	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三二 同地方債償還	一、〇〇〇	一、〇〇〇	同
三三 同社債償還	一、〇〇〇	一、〇〇〇	同
三四 同株式買戻等	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
(二) 資本邦人海外放	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
三五 及外國國債償還	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
三六 外國地方債償還	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
三七 外國社債償還	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
三八 同株式買戻	0	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三九 償還外國債金及利子	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
三〇 同海外收入金償還資	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
三一 回收外債整理資	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
合計	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇	同
第乙 國債整理基金支拂			
(一) 國債整理基金支拂	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
一 國債利子	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
二 地方債利子	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
三 社債利子	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
四 償還金及利子	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
五 國債償還金	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
六 預託金利子等	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同

國債整理基金特別會計歲入歲出豫算

第一 國債整理基金	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
(一) 國債整理基金	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
一 國債利子	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
二 地方債利子	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
三 社債利子	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
四 償還金及利子	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
五 國債償還金	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同
六 預託金利子等	一、〇〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	同

三三ニューディール關係法規の履行及び其に依る電氣事業の整理統一等の今日の情勢に鑑み電氣事業の國營の可否を問題とする現政府の政策については、目下調査研究中なるも、其の結果を俟つまでもなく、國民所得は過去三年以來倍加つゝあり、殊に電氣事業を始め、其の他の産業は、いずれも、其の生産能力の擴充に努めつゝあるこゝろである。國民所得の增加は、租稅收入の增加を伴ふものであるが、其の增加の要因として、國民所得の增加及び公債償還の減少等、國債整理基金特別會計の收入の增加は、一般會計の負擔を軽減するものであるから、これ等の事情を考慮し、今日の情勢に於ては

とがある。案内人の優秀なる者を得んとするには、案内人組合の確固たる組織と公の殿重な監督とが必要である。

三、山小屋　夏季に於て十分使用し得る山小屋も冬季に於ては使用全く不可能になることが多い。從つて山小屋の冬季使用可能不可能の裁定公表は極めて重要なことである。この公表は、營林署鐵道省或は案内人組合、登山案内所その他なるべく權威ある機關によりなされることが肝要である。又山小屋には宿泊薄、食糧、燃料等の備付の有無を明かにすることは當然である。

救援組織

現在各地方に於て、救援に對する常設的の組織は殆ど見當らないといつてもよい狀態である。遭難の突發するや、急遽救援本部を作つて捜索を開始するが如き泥縄式では、極めて時間的にも經濟的にも劃の合はぬことである。故に、山の登山口、或はスキー場等のある町村にては、豫め救援事務所を設置し、山の案内或は相談に應ずるは勿論萬一の際に備へて置くことは總ての點に於て非常に有效である。是等の事務所はスキー客や登山者に對して僅少なる入山料を徴收するか、或は平常の寄附金その他の方法によつて經營し、救急品の備付は勿論、山の案内相談に應じ、萬一の救援には直ちに平常の準備によつて急速に手配し、救援費の裁定をなす等、遭難防止にも救援事業にも、救援後の始末にも統制ある方法を採ることが必要と考へられる。

◎共同作業場設置要綠

◎昭和九年度佐賀縣穀物檢査成績　第一八報　福岡縣

佐賀縣穀物檢査所

なほ、官廳刊行圖書の全部およびその内容等についての詳細は印刷局發賣の「官廳刊行圖書目錄」に登載してある。

◇前週の官報に◇

◎法改局長官および通信次官更迭（敍任および辭令）　一三日

◎十年十一月の十三都市御賣物價況（彙報）　一三

◎十年十二月三十一日現在預金部狀況（同）　一四

◎十年十一月の十三都市貨物賃況（同）　一四

◎貴族院男爵議員補闕選擧（辭令）　一五

◎十年十二月末の紙幣および銀行券流通高（彙報）　一五

◎本年第一回齒科醫師並に藥劑師試驗施行（内務省告示）　一六

◎陸軍經理學校教科生徒召集（陸軍省告示）　一六

◎十年十二月末の國債額（彙報）　一六

◎昭和十年度（十年十一月末）國庫歳入歳出現計（同）　一七

◎十年十二月末日現在の國債額（同）　一七

◎關東州地方待遇職員令中改正（勅令）　一八

◎政府の賣渡す鹽の價格および鹽妻付金額（大藏省告示）　一八

◎昭和十年國債額（彙報）　一八

◇寄贈圖書雜誌◇

＝二月號＝

▼外務省報、週間時報、海外事情、通商局日報、海外經濟事情　外務省

▼内務時報、勞働時報、保險時報　内務省

▼職業紹介報　中央職業紹介事務局

▼外國鐵道業報、國際時報、その他隨時刊行書　鐵道省

▼農務時報、山林彙報　農林省

▼財務通報　大藏省

▼特許公報、同明細、實用新案公報、商標公報　特許局

▼學校衛生　文部省内學校衛生會

▼國立公園　國立公園協會

▼國際知識、世界とわれ等　日本國際協會

▼世界の勞働　國際勞働局

▼國語教育　育英書院

▼東京市公報　東京市

▼正金周報　横濱正金銀行

▼經濟月報、物價調　東京商工會議所

最近官廳刊行圖書抄報

◎昭和十年全國市町村別面積調　内閣統計局

東京統計協會發賣（東京、銀座西三ノ一）　五五錢　送料六錢

◎美術及工藝陳列案内　東京帝室博物館

同博物館發賣（東京、上野公園内）　一〇錢　送料二錢

◎昭和十年改町地理及地質學教程　陸軍士官學校

◎昭和九年度成人教育講習實施概要　文部省

◎新潟醫科大學研究報告　第八卷第二號　新潟醫科大學

◎積雪地帶村經濟調査所報告第七號　昭和九年積雪調査　農林省積雪地方農村經濟調査所

◎落錘試驗器による爆藥の感度試驗　第一回報告　福岡鑛山監督局

◎鐵道研究所資料第二號　ストーブと其の選擇に就いて　逓信省

◎鐵道研究所資料第二三號第二八號　風壓に對スル車輛ノ安定度　鐵道省研究所

同研究所發賣（東京、芝區櫻町一）　二二錢　送料共

◎朝鮮總督府濟生院事業要覽　昭和一〇年　朝鮮總督府濟生院

◎昭和九年度臺灣地方財政概要　臺灣總督府

◎臺灣總督府中央試驗所報告第一二號　第二類（林業）第八號　南樟太に於けるダイマツ天然林の林木構成並に生育狀況に就て　樟太廳中央試驗所

◎鬼毛皮の剝皮と鞣し方　北海道廳

◎西宮港改良工事概要　兵庫縣

◎昭和九年埼玉縣管内毎時雨量觀測成績　埼玉縣熊谷測候所

◎千葉縣の林業　千葉縣

◎長野縣工業試驗場報　第三二號　各種纖維布帛の紫外線透過　長野縣工業試驗場

◎昭和九年度業務功程　宮城縣農事試驗場

◎鹵檢定解說　廣島縣鹵檢定所

◎昭和八年德島縣統計書　第三編　德島縣

二八、外國地方債社債同上　三八、三二九　〇　三八、三二九

二九、外國株式同上　〇　八〇〇　△　八〇〇

三〇、海外預け金及貸付金　五七、〇三四　九、八三五　四七、九七七

三一、海外事業投資　二九三、四七四　一六八、九八二　一二四、四九二

（二）外國人本邦放資回收　九九、九一〇　九九、〇四四　△　二、二四四

三二、本邦國債償還　一八、三六九　一八、三六四　三五

三三、同地方債償還　六、一〇三　六、二三二　△　一四七

三四、同社債償還　三三、九八〇　三四、三六八　△　九、四〇八

三五、同銀行會社借入金返償等　五、五二〇　一五、二三三　△　九、七三三

三六、同國債買戻　一二、〇〇二　三三四　一二、六八八

三七、同地方債社債買戻　八、九三四　一四　八、九二〇

三八、同株式買戻等　七、九四〇　一三、四三九　△　五、四八九

合計　一〇九、一八九　八九七、九二〇　一九三、五二一九

項目　昭和九年　前年分　比較增減

第一經常的收支　受取超過　一五二、一八八　受取超過　一〇九、八〇一　受取超過の增　八二、三八七

支拂超過　一八、四三一　支拂超過　二〇、九九六　支拂超過の增　一六二、四三五

第二臨時的收支　受取超過　八、七四七　受取超過　八八、八二五　受取超過の減　八〇、〇七八

合計　受取超過　一六〇、〇〇〇　受取超過　一〇〇、〇〇〇　受取超過の減　六〇、〇〇〇

（參照）

昭和九年本邦外國貿易額（朝鮮、臺灣及び南洋群島の分を含み銀を含み金を含まず）

昭和九年　前年分　比較增

輸出額　二、一二〇、〇四二　一、九三九、七四七　三三二、六六五

輸入額　二、四〇一、三四九　二、〇一九、六六三　三八三、六八六

差引輸入超過額　二八九、三四七　七七、八八六　五一、九二一

注意　（一）本調査は關係各方面の調査を基礎とし出來得る限り正確を期したるも、資料不充分なる事項に付ては推算に依れり　（二）本調査は從前發表せる分に比し之が計算方法に付變更を加へたるものあり、從て本表と併記せる前年分に付ても同樣の方法により作成の結果前回發表せる分と符合せざるものあり。昭和八年分は本欄五七九號（十年一月三十日）に發表。